

事項一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件

附 山東津浦両鉄道連絡ニ関スル件

四〇七 五月六日

石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛

山東ニ於ケル通信業務ニ関シ中國側トノ交渉

要領回訓ノ件

附屬書 日本經由青島發着外國電報取扱ニ関スル遞信省

側ノ意見書

附記一 大正四年九月三日附在中國小幡臨時代理公使發

大隈兼任外務大臣宛公信第二二七七号

山東ニ於ケル通信業務ニ関スル件

附記一ノ附屬一 大正四年九月一日山東郵電問題協議経過

大正四年九月一日山東郵電問題協議経

附記四ノ附屬一 大正四年十一月九日山東郵電問題第二回協議経過

現ニ日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地及

山東ニ於ケル通信業務ニ関スル件

附記二 大正四年十月二十五日附石井外務大臣發在中國

小幡臨時代理公使宛公信政機密送第二二六号

山東ニ於ケル郵便及電信業務

二 関スル取極案

間日支郵電交渉解決ニ関スル協定草案

三 日本国ノ管理ニ属スル膠州灣租借地及

山東鐵道沿線ニ於ケル郵便及電信業務

三 関スル取極案

大正四年十月三十日附石井外務大臣發在中國小

附記五ノ附屬一

大正四年十二月二十日山東郵電問題第三回協議経過

二 交通部第二次提出修正案北京支那國交

通部ト北京日本公使館トノ間ニ会訂セ

ル現ニ日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租

第一 支那交通部第二次提出修正草案ノ標題ニ付テハ既ニ

青島稅關ニ関スル取極ノ先例モアルニ付今次ノ郵便電信

ニ関スル取極ニ限リ支那側ニ於テ特ニ支那交通部ト日本

公使館間ノ会訂トナスノ要ナカルヘク且ソ支那側ニ於テ

斯カル申出ヲ為スハ畢竟本取極ヲ以テ暫行的ノモノトナ

シタキ下心アル次第ト察セラルル処當方ニ於テハ出來得

ル限り今次ノ取極ニ暫行的色彩ヲ帶ハシメザル様致シタ

キハ言ヲ俟タザル所ナレハ「中國交通部ト日本公使館ト

ノ間ニ会訂云々」ノ字句ハ之ヲ避ケ青島稅關ニ関スル取

極ト其ノ字句ヲ一致セシムルヲ妥当ト認ムルモ強テ争フ

程ノ問題ニモ非ザレハ他ノ事項ニ関スル交渉ノ懸引上支

那側ノ提案セル標題ニ同意セラルルモ異存無ン

第二 支那案第一条ニ付テハ同第二条ノ如ク日本郵便局ノ

所在地ヲ限定セントスル以上本条ニ於テモ是レト字句ヲ

左記

公信政機密送第七九号

本件ニ關シテハ客年十月二十五日附政機密送第一一六号及

同年十月三十日附政機密送第二二二号往信ヲ以テ縷々申進

置候處右ニ基キ客年十一月九日及同年十二月二十日貴館ニ

提案ヲ具シ客年小幡代理公使發本省宛電第六三三号同年十

一月十三日附同代理公使發本省宛機密第三四八号公信同年

貴電第七一一号同年十二月二十二日附機密第三八九号貴電

ヲ以テ詳細御稟申ノ趣聞悉、本件ニ關シテハ本年一月貴電第七七号ヲ以テ御申越ノ次第モ有之爾來遞信省側トモ篤ト

協議ヲ重ねタル結果左記要領ニ隨ヒ支那側ト交渉シ今次ノ取極ヲ了シ度意嚮ニ有之候間委曲ハ右ニ御了知ノ上左記要

領可然御斟酌相成支那側ト交渉方御取計相成度此段申進候也

註一 左掲附記一

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四〇七

合セ「原設中國郵政局及電報局処云々」ト規定スルヲ当然ナリト思料スルモ次ニ述ブル如ク支那案第二条ニ於ケル我郵便局ノ位置ノ限定ハ結局不必要ト認ムルヲ以テ右第二条ニ関スル我方ノ主張ヲ支那側カ容ルルニ於テハ支那案第一条ニ異議無シ

第三 支那案第二条ニ付テハ

(1) 我郵便局舎ノ位置ニ関スル部分ヲ除キ其ノ以外ニ関シテハ異存無シ

(2) 昨年十二月二十二日附機密第三八九号貴信添付第三回協議経過覚書ニ依レハ支那案第二条ニ掲タル日本郵便局舎ノ位置ニ関シ我委員ノ質問ニ對スル支那委員ノ説明ニ依レハ德國原設郵便局處トハ必ズシモ從前ノ独逸郵便局舎其物ヲ指ス趣旨ニ非ズンテ鉄道用地内ナレハ何レノ地ニテモ差支ナキ意味ナル由果シテ然リトセハ第一条トノ權衡上ヨリ云フモ本条ノ如ク特ニ我郵便局所在地ヲ限定セントスル字句ヲ用フル必要ナシト認ムルヲ以テ支那案第一条支那郵便電信局ノ位置ニ関スル規定ト其ノ字句ヲ一致セシムル為メ本条ヲ相當修正セシムル様致シタシ

配慮アリタシ

(3) 前記政機密送第二一六号往信左記第四項ニモ申進候通濟南ニ於ケル我現野戰郵便局所在地ノ家屋ハ幾分支那側ニ於テ商埠地境界線ト称スル線外ヨリ其ノ線内ニ跨レル形跡アルヲ以テ今回我野戰郵便局ハ右境界線ヲ限度トシ實際上其ノ線外ニ設置スル予定ナルモ如何ナル地点カ真ニ商埠地境界線ナルカノ問題ハ郵便局建設ノ件以外ニモ關係アルヘキ事項ナルヲ以テ支那側ニ対シテハ右ノ通我郵便局ハ事實上之ヲ支那側ノ所謂商埠境界線外ニ建築スル旨説明スルニ止メ境界線其レ自身ノ問題ハ此際之ヲ確定セズ将来交渉ノ余地ヲ存スル様致度御含迄申進ム

(4) 濟南ニ於ケル我野戰郵便局新築予定地ノ変更ニ關シ客年十一月十三日附小幡代理公使發本省宛機密第三四八号公信中同代理公使ノ所謂「愈々停車場構内ニ設置スルコトニ決定シタル上ハ其ノ旨公文中ニ然ルヘク記入シ云々」トハ停車場構内ニ設置スル旨ヲ公文ニ記入セズ單ニ此際ハ鐵道用地内ニ設置スル旨ヲ公文ニ記入スル意味ト思料スルモ為念申添ニ

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 附 四〇七

(4) 濟寧ニ設置スヘキ我郵便局ノ位置ニ關シテハ從来格別問題ト成リタルコトナキモ若シ今後右位置ニ關シ何等支那側ヨリ申出アリタルトキハ濟南同様我方ノ主義上ノ主張ハ何処迄モ維持セラルコト致度寒ハ将来如何ナル場合ニ郵便局ヲ設置スヘキヤハ遞信省側ニ於テモ末タ確定シ居ラザル次第ニ付若シ右位置ニ關シ問題起リタルトキハ前掲ノ通主義上ノ主張ヲ為スニ止メ後日實際設置ノ問題ニ接シタル上更ニ協定スルコト致シタシ右併セテ御含迄ニ申添ニ

第四 支那案第三条ニ付テハ大体ニ於テ異存ナキモ後日彼我電信接続局ヲ何レニ定ムヘキカニ付日支間ノ協議纏マ

ラザルトキハ其ノ為メ山東鐵道沿線中何レノ地点ニ於テモ永ク電信聯絡ヲ實行シ得ザルカ如キコトナキヲ保シ難ケレバ先づ濟南日本郵便局ニ於テ彼我ノ電信接続ヲ開始スヘキコト丈ハ適宜公文ニ依り確定シ置キ其ノ以外ノ地ニ於ケル接続ニ關シテハ支那案通追テ協定スルコトニ致シタシ

第五 支那案第四条ニ付テハ

(4) 客年十一月十三日附小幡代理公使發本省宛機密第三四

八号公信添付第二回協議経過覚書及客年十二月二十二日附機密第三八九号貴信添付第三回協議経過覚書ニ依レハ軍事郵便局及無線電信所ニ関シ我委員ヨリ支那委員ニ対シ軍隊撤退ト共ニ是等ノ軍用電信機関ヲ廃止スルコト丈ハ帝國政府ニ於テ異存無カルヘシト答ヘタル趣ノ処本件ニ関シ陸軍遞信兩省ノ意見ニ依レハ濟南ニ於ケル我無線電信所ハ軍事上甚ダ重要ナルモノニシテ戰略上ノ要地トシテ同所ニ無線電信機関ノ必要ナルハ勿論無線電信技術ノ見地ヨリスレバ同所ハ秦皇島大連青島及漢口等ニ在ル我無線通信所ノ中間ニ位シ是等無線通信系ノ中枢トナリ相互ノ通信聯絡ヲ便易ナラシムルノミナラズ支那各地ニ於ケル支那其ノ他ノ諸外国ノ無線通信ヲ傍受ン有力ナル情報蒐集所トンテ恰好地ニアリ現ニ目下ノ支那時局等ニ付テモ重要ナル情報ヲ屢々諜知シタル趣ヲ以テ目下ハ移動式ノ微弱ナル裝置ニ過ギザルモ陸軍側ニテハ之ヲ改良シテ恒久的ノ有力ナル設備ニ変更スルノ必要ヲ認メ已ニ是レカ計劃中ナル由ニテ支那側ニ対シ今日ヨリ撤兵ト共ニ撤廢スヘシト云フガ如キ約束ヲ為シ他日撤兵ノトキ之ヲ存続セシム

電信所ヲ所謂商埠地境界線外ノ他ノ地点ニ移転スルコトニ付テハ今次ノ取極ト離レ別個ノ問題トシテ協議ニ応ズルモ差支ヘナク尚軍事郵便局ニ付テモ郵便受取所等之ニ代ルヘキ設備ニヨリ軍隊撤退後ト雖モ引続キ我郵便事務ヲ取扱フヘキ機関ヲ存置セシムル必要アルヲ以テ（客年政機密第二一六号参照）此際軍隊撤退ト同時ニ軍事郵便局ノ撤廢ヲ約束スルハ将来ニ取り不利益ニ付無線電信ト同様今次ノ取極ノ範囲外ナリト云フロ実ノ下ニ後日ノ問題トシタキ希望ナル由ニ有之候就テハ既ニ前回ノ會議ニ於テ我委員ヨリ応答ノ次第モ有之候得共前掲ノ次第御考量ノ上今次ノ取極ハ当初ヨリ公衆通信業務ノ復活ヲ主タル眼目トスルモノナルヲ以テ軍事的設備ニ対シテハ論議スルノ要ナントノ理由ノ下ニ支那案第四条前段ヲ円滑ニ拒絶シ軍用通信機関ノ撤廢問題ハ之ヲ後日ノ協議ニ譲ル様特ニ支那側ヘ交渉方配意アリタシ

(a)支那案第四条後段中我軍事郵便局ニ於ケル公衆郵便物ノ取扱廃止ニ關シテハ今次ノ取極成立シ濟南及濰県ニ於テ日本普通郵便事務ヲ開始シタル後右両地ニ於ケ

ルノ理由ヲ直ニ失フニ至ルカ如キコトナカラシメムコトヲ熱望スル趣ニ有之且山東鉄道電信線カ支那人ノ為ニ竊取セラレ不通トナルガ如キ事故頻々ニシテ右等ノ場合ハ列車運行上ノ事故又ハ錯誤ヲ未然ニ防遏スル必要ニ依リ勢ヒ青島無線電信所ト相俟テ濟南無線電信所ヲ利用セザルベカラズ然レハ右無線電信所ノ必要ハ單ニ軍事上ニ止マラズ又将来ニ於テモ渝ラサルモノト認メラルニ付今次ノ取扱ハ主トシテ公衆通信ノ復活ヲ目的トスルモノナルカ故ニ此ノ目的ニ直接關係ヲ有セザル軍事的設備ニ対シテハ大連竜口間海底電線ノ撤廢竜口高密間陸上電線ノ撤廢同電信線上ニ設置シタル電信取扱所ノ撤去竜口無線電信所ノ撤廢ノ如キ既ニ我委員ヨリ説明ヲ了シタルモノノ外此際我方ハ軍用通信機関ニ関シ何等取極ヲ為スヲ欲セズト云フロ実ノ下ニ本件濟南無線電信所撤廢ノコトハ之ヲ協議ノ問題トナサシメザルコトヲ希望ス尤モ現在ノ濟南無線電信所カ支那側ノ所謂商埠界内ニ在ルカ為支那側ニ於テ痛ク之ヲ意ニ介シ居ル義ナラバ今次ノ取極ノ諸項ニ對スル支那政府ノ態度如何ニ依リテハ特別ノ好意ヲ以テ右無線

(b)支那案第四条後段中日本經由外國電報取扱ノ廃止ニ付テハ別紙甲号遞信省側ノ意見ニ依レバ必ズシモ之ヲ廃止セザルベカラザル義務無之哉ニ認メラルヲ以テ別紙遞信省側ノ意見書ニ適宜御參酌ノ上大体該意見書ノ趣旨ニテ我委員ヨリ支那側ニ擧說シ結局支那案第四条ハ前段ニ述ヘタル如ク濟南及濰県ニ於テ日本普通郵便局ヲ開設シタル後右両地ニ於ケル野戰郵便局ノ公衆郵便物ノ取扱廃止ニ關スル部分ヲ除キ他ハ支那側ヲシテ全部撤回セシムル様御尽力アリタシ

(c)支那案日本經由青島發支那内地宛電報ヲ停止シ居ル件

ニ付テハ第二次会見ニ於テ我委員ヨリ支那側ニ警告ヲ与ヘタル処ナルモ支那交通部及大北電信会社ヨリ別紙乙号及丙号写ノ通遞信省ニ通告シ來リ依然電報ノ停止ヲ繼續シ居ル趣ナレハ本件ニ關シ重ネテ支那政府ニ嚴重ナル注意ヲ与ヘ支那側ヲシテ断然該電報ノ停止ヲ廢スル様声明セシメラレタシ

第六 支那案第五条前段ニ關シテハ我委員ヨリ修正セシメタル通ニテ異存ナシ同條後段修理復旧費用ニ關シテハ我委員ノ弁明シタル通削除セシメラレタシ

第七 支那案第六条中

(1) 小包郵便ヲ今次ノ取極ヨリ除外スルコトニ付テハ日支兩国民ノ通商及交通ノ發展上支那カ之ヲ主張スル所以ヲ了解スルコト能ハザルモ支那側ニ於テ我提議ニ応ゼザル限り遺憾ナガラ後日ノ協商ニ俟ツノ外ナシト認ム
(2) 本条ノ適用ノ範囲ヲ支那郵便局発ノ郵便物ニ付之ヲ青島宛ノモノノミニ限定スルハ支那側ノ自由ナルモ日本郵便局発ノ郵便物ニ付之ヲ僅カ青島県及濟南発ノモノノミニ限定セムトスルカ如キハ絶対ニ応ジ難シ帝国政府ハ既ニ支那側ノ提議ヲ容レ平等ナル双互主義トスル

第八 支那案第七条ニ付テハ同案ニハ膠洲灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル日支郵便事務及山東鐵道ニヨル支那郵便物ノ輸送並鐵道電信聯絡料金等ノ一切ノ事項ニ關於テハ今回ノ取扱ニヨリ芝罘青島上海間ノ海底電線シテハ從前ノ独支弁法ヲ適用スル旨ヲ記載セル處我方ニ於テハ今回ノ取扱ニヨリ芝罘青島上海間ノ海底電線ニ關スル独逸ノ権利繼承ノコトヲモ確定シ置キタキ考ニ付右海底線ニ關スル独支弁法モ亦支那案第七条ニ掲ケタル諸弁法ト共ニ其適用ヲ受クルコト相成ルヘキモノト思考ス此外電話又ハ無線電信等ニ關スル独支間ノ協定額モアリ得ヘキコトナレハ此際に掲一切ノ弁法ヲ包含セシメ遺漏ナキヲ期スル為今回ノ支那案ノ如ク

諸事項ヲ列挙スルコトヲ避ケ概括的ニ通信ニ關スル独立弁法ト記載スルコト致シタシ但シ從前存在セル独立間ノ弁法ニシテ山東省ニ關係アルモノハ勿論其ノ他通信事業ニ関スル独立間ノ協約約束額ハ此際一切公文書ヲ以テ之ヲ開示セシメ尚其ノ以外ニハ存在セザルコトヲ特ニ明記セシムル様致シタシ

右ハ客年十月二十五日附政機密送第二一六号往信左記

第三項中ニモ記載シアル通先年支那委員ヨリ遞信省ニ提出シタル獨支電信協約写ニハ支那側ノ主張ニ不利益ナル点ヲ削除シアリタル實例ノ外尚最近ノ調査ニ依レハ山東鐵道ニ依ル支那郵便物ノ輸送ニ付テハ毎月一定ノ輸送料ヲ支那ヨリ該鐵道側ニ支払ヒ居リタルニ拘ラズ支那政府ハ今回ノ商議ニ於テ之ヲ秘シ第一次ノ提案ニ於テ是レガ無料遞送ヲ申出デタルガ如キ其ノ不誠意ヲ示ス實例モ有之ニ付從来ノ独支間ノ弁法ハ是非共公文ヲ以テ之ヲ開示セシメ不測ノ不利益ヲ招クカ如キコトナカラシムル必要アリト認メタルカ故ナリ

第九 支那案第八条ニ付テハ我委員ノ弁駁シタル通支那側ヲシテ之ヲ撤回セシムル様配意アリタシ

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 附 四〇七

第十 交通部第二次提出修正案ニ關スル當方ノ意図ハ大体前記數項ニ記載シタル通ニ有之候處同草案ニ記載ナキ事項タル上海青島及青島芝罘間海底電線繼承ニ關スル件ハ第二次会見ノ際支那側ヨリ今次ノ交渉ハ日独講和ニ至ル迄ノ間暫行的ニ通信聯絡方法ヲ取極ムルコトヲ主眼トスルモノナルヲ以テ該海底電線繼承ノ義ハ山東省ニ關スル條約第一條ノ規定モアリ将来ノ問題ト為シタント逃ケ到底應諾ノ模様ナカリシニ依リ我委員ニ於テ程好ク打切りタル趣ナルカ該海底線ハ目下不通トナリ居ルヲ以テ直ニ之ヲ利用スルコト能ハサル状態ニアルモ青島ノ電信聯絡ニハ主要ナル線路ナレハ明日ニモ是レカ復旧使用ヲ必要トスル場合生スルコトナシトセズ独逸ノ特權權利ノ繼承ニ付テハ勿論山東省ニ關スル条約ノ存スルアルモ右條約ハ現下ノ戰役終了後日獨兩國間ニ協定ヲ了シタル後ニ於テ始メテ適用アルモノナレハ右日獨間ノ協定成立以前ニ該海底電線ノ復旧ヲ必要トスル場合發生スルトキハ今次ノ取極ニ於テ必要ニ依リ将来何時ニテモ帝国政府ニ於テ該海底線ヲ復旧運用シ得ルモノナルコトヲ明ニナシ置カザル限り再ヒ日

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四〇七

四九〇

支間ニ協定ヲ要スルノ煩ヲ生ズベシ右ノ次第ナルヲ以テ該海底電線繼承ノ件ハ此際是非共支那側ノ同意ヲ得ル様交渉方御取計アリタシ

以上 添付書類

甲号 別紙日本経由外國電報取扱ニ関スル遞信省側ノ意見書

乙号 千九百十五年十一月十五日附支那交通部周局長ヨリ田中通信局長宛書翰写

丙号 千九百十五年十一月二十三日附大北電信会社バーンソンヨリ田中局長宛電信写

註 別紙乙号及丙号共ニ記録ニ存セズ

(附屬書)

甲号 日本經由青島發着外國電報取扱ニ關スル遞信省側ノ意見

日本經由外國電報取扱ニ付テハ第二次會見ニ於テ支那側ハ取極成立ト共ニ該電報ノ取扱ヲ廢止シ且電信聯合總理局ヘ其ノ旨日本側ヨリ通知方主張シテ止マサル趣ノ所北支那ニ於ケル我軍用電信線ヲ利用シテ公衆電報ヲ取扱フカ如キハ

本件日本經由青島發着外國電報ノ取扱ト其ノ趣ヲ異ニスル所アルモ（大正四年七月二十八日附加藤大臣發遞信大臣宛電機密送第四四号参照）青島内地間ノ電氣通信設備ニ至リテハ支那ノ管理ヲ離レタル膠州灣ト日本トノ間ノ設備ナルカ故ニ之ヲ支那ノ承諾ヲ経スシテ公衆電報ノ用ニ供シタリトテ直ニ日支電信協約違反ナリト為スヘキ理由ナキハ明力ナリ申ス迄モナク膠州灣ハ獨逸ノ租借地ニシテ租借期間中支那ハ其ノ統治權ヲ獨逸ニ委シタルヲ以テ同地ニ於ケル海底電信陸揚等ヲ許否スルノ權能ハ本来支那ノ有スル所ニ非シテ獨逸ノ有スル所ナリ故ニ日支電信協約上日本カ支那政府ノ同意ヲ得スシテ支那ニ電信系ヲ延長スルヲ得スト云フ所謂「支那」ニハ右租借地ノ如キヲ包含セスト解セサルヘカラス（明治四十一年日支電信協約第一条参考）斯ノ如ク日本ト青島トノ間ニ電氣通信ノ設備ヲ為シ又ハ両地間ノ軍用通信ノ設備ヲ公衆電報ニ利用スルコトニ付テハ日本側ヨリスレハ青島ハ日支電信協約上ノ所謂支那ニ非サルヲ以テ支那ノ同意ヲ求ムルヲ要セス又青島側ヨリスレハ日本ハ独逸ニ代リテ其ノ租借地ヲ管理スルモノナルカ故ニ支那ヨリ何等拘束ヲ受ケル理由ナシ是恰モ閔東州租借地ト日本

内地トノ間ニ帝国政府自ラ海底線ヲ敷設シ或ハ無線電信ヲ設備シ之ニ依リ閔東州租借地及日本内地間ノ通信ヲ取扱フコトハ勿論日本内地經由閔東州租借地發着外國電報ヲ取扱フコトモ専ラ帝国政府ノ自由ニ属シ特ニ條約又ハ法令ノ規定ニ依リ帝国政府自ラ之ヲ制限セサル限り何等支那政府ノ容嘴ヲ許ササル所ナリ從来當省カ青島發着外國電報ノ日本經由取扱ハ日本カ之ヲ實施スルノ自由ヲ完全ニ享有スルモノナリト述ヘタルハ上記ノ理由ニ外ナラス若シ夫レ權利ノ享有ト權利ノ行使トハ自ラ別問題ニシテ青島發着外國電報ニ對シ日本經由ノ新線路ヲ開拓スルハ日本ノ享有スル權利ナルコト勿論ナレトモ日本ハ當時ニ於テ右ノ權利ヲ行使セントスルモノニ非ス右新線路ヲ開キタル所以ノモノハ青島ニ於ケル電信連絡カ悉ク杜絶シタルノ結果之ヨリ生シタル不便ヲ之ニ依リテ救濟スルノ必要ヲ認メタルカ故ニシテ之ヲ臨時の措置ト称スルハ日本ノ経常的計画ニ非サルノ議ニシテ日本カ正当ノ権利ヲ有セサルモ変ニ応スルカ為ニ計画シタル便宜的措置ト云フノ意ニハ非サルコト論ナシ而シテ今次ノ取極成立シ在青島支那電信局及山東鐵道電信線ニ依ル支那電信系トノ連絡復旧セハ料金低廉ノ事情等ヨリ青島

着電報ノ日本經由取扱ハ獨治時代ニ於テ主要ナル線路タリシ上海青島及青島芝罘間海底電線カ不通ノ状態ニアル間ハ青島ノ電信連絡上必要ナルモノニシテ而シテ在青島支那電信局及山東鉄道電信線ニ依ル支那電信系トノ連絡復旧セハ料金ノ関係等ヨリ支那内地宛電報ハ勿論諸外国宛電報モ事実上悉ク支那電信系ヲ經由スルコトトナルハ幾ント疑ナク隨テ日本經由ノ線路ハ廢止同様ノ姿ヲ呈スヘキモ電信線ノ不通又ハ輻輳等ノ為尚之ヲ必要トスル場合モアルヘキニ付青島ノ電信連絡カ悉ク復旧スル迄日本經由ノ線路ハ今日ノ儘放置スル方青島ニ在留スル日支両国公衆ノ為ニモ利便ナルヘキ理由ヲ支那側ニ懲示シ彼レノ要求ヲ撤回セシムル様尽力セラレタシ

(附記二)

大正四年九月三日附在中国小幡臨時代理公使發大

隈兼任外務大臣宛公信

山東ニ於ケル通信業務ニ関スル件

第二七七号(機密至急) (同年同月八日受)

本件ニ關シ九月一日當館ニ於テ下協議ヲ開始シ我方ヨリハ出淵、高尾兩書記官先方ヨリハ権參事、徐郵務科長、周電

務科長出席彼我提案ニ基キ別紙甲号所載ノ通全部ニ亘リテシ上海青島及青島芝罘間海底電線カ不通ノ状態ニアル間ハ青島ノ電信連絡上必要ナルモノニシテ而シテ在青島支那電信局及山東鉄道電信線ニ依ル支那電信系トノ連絡復旧セハ料金ノ関係等ヨリ支那内地宛電報ハ勿論諸外国宛電報モ事実上悉ク支那電信系ヲ經由スルコトトナルハ幾ント疑ナク隨テ日本經由ノ線路ハ廢止同様ノ姿ヲ呈スヘキモ電信線ノ不通又ハ輻輳等ノ為尚之ヲ必要トスル場合モアルヘキニ付青島ノ電信連絡カ悉ク復旧スル迄日本經由ノ線路ハ今日ノ儘放置スル方青島ニ在留スル日支両国公衆ノ為ニモ利便ナルヘキ理由ヲ支那側ニ懲示シ彼レノ要求ヲ撤回セシムル様尽力セラレタシ

別紙附屬書類ニテ御承知相成ヘク通支那側ニ於テハ我国力

山東ニ於ケル通信業務ニ関シ独逸ノ権利及特典ヲ繼承スルコトニ對シ主義上同意ヲ表シ居ルモ其實行方ニ付テハ努メ

テ独治時代ノ原狀ニ副ハシメムコトヲ企図シ独逸ノ有セサ

リシ権利及特典以外ノ事ノ細大ヲ問ハス一步モ讓ラサルノ立前ヲ取り之ト同時ニ支那ノ有シ居ルタル権利及特典ハ之ヲ完全ニ恢復セムコトヲ期待シ尚今回ノ取極ハ青島税関ノ例ニ倣ヒ形式上暫行的ノ字句ヲ避ケ實質上暫行的タラシメ

ムト欲スル次第ニ有之右ハ帝国政府ノ希望ニ副ハサル点ア

ルモ支那側ノ立場トシテハ諸般ノ関係上斯ル態度ニ出ツルコト蓋シ當然ノ成行カト被存候

前述ノ次第ナルヲ以テ此際我方ニ於テ独逸ノ有セサリシ権利及特典ヲ併セテ承認セシメムトシ又ハ永久的ニ亘ル事項ニ関シ強テ取極ヲナサムト欲セハ事面倒トナリ容易ニ協定ヲ見ルコト覚束ナカルヘクト存候就テハ今回ノ下協議ニ於テ略支那側ノ態度ヲ窺知シ得タル以上本件ノ円満解決ヲ図

ラムトセハ支那側ノ主張ニシテ相当理由アリ且我方ニ於テ

格別差支ナキ事項ハ成ルヘク之ヲ容レ以テ我方ノ希望貫徹ニ資スルコト得策ナルヘクト思料シ此見地ヨリシテ篤ト考究ノ結果第二段ノ順序トシテ我方ヨリ提示シ商議ノ基礎トナスヘキ修正案ヲ試ニ別紙丙号ノ通作成茲ニ供貴覽候間至急御詮議ノ上何分ノ義御電訓相成度此段及請訓候也

追而支那側トハ引続キ商議ヲ繼續シ彼我提案ニ基キ討議ヲ重ヌル積ニ付参考トナルヘキ事項ハ更ニ電信ヲ以テ補足可致候

右為念申添候也

(附記一ノ附屬二)

甲号

大正四年九月一日山東郵電問題協議経過

協議進行ノ順序トシテ日本側ヨリ七月二十三日付田中通信局長発周郵伝司長宛書面列記ノ各項ニ付夫々訓令ノ趣旨ニ依リ一応ノ説明ヲナシ支那側ノ所見ヲ微シタルニ支那側ヨリ客冬田中局長來京ノ砌周司長ト山東通信問題ニ付会談シタルハ事実ナルモ當時支那側ヨリ提議ヲナスヘシトノ約束ヲナシタルコトナク今回ノ書面ハ聊カ意外ニ思料スル旨ヲ

郵便局ノ開設ヲ承認スルトセハ支那局ト日本局同一市内ニ併置セラルコトトナリ業務上ノ競争ヲ惹起シ支那ニ取り不利益ナルノミナラス他国ニ於テモ其例ニ倣ヒテ均霑ヲ申込ムニ至ルヘク支那ハ昨年九月一日以降一切支那内地ニ外国郵便局ノ新設ヲ許ササルコトニ決定シ居ル関係上断シテ斯ル惡例ヲ避ケサルベカラサルヲ以テナリト主張シ独支郵便約定第一條中 Both situated outside international trade mart limits ノ字句ヲ指摘説明セリ依テ日本側ヨリ右字句ハ必スシモ商埠地外ニ設置セサルベカラストノ限定期の意味合ニアラサルハ勿論元来郵便ナルモノハ公衆ノ利便ヲ圖ルコトヲ目的トスルモノナルヲ以テ将来商埠地ノ繁栄ヲ予想スルトキハ商埠地内ニ設置スルコト至当ナルヘク且右ハ支那局トノ競争トナルカ如キコトナカルヘク却テ郵便物交換ニモ便利ナルヘシ他国ノ均霑云々ハ差向キ濟南ニ郵便局開設ヲ必要トスヘキ國ナカルヘキト仮ニ均霑ヲ主張スル国アリトスルモ日本カ独逸ノ権利ヲ繼承シタル特殊ノ關係アルコトヲ以テ拒絶セハ之ヲ排斥スルコト困難ナラサルヘシト論駁（我郵便局開設地ハ山東鉄道附屬地ナルコトヲ論拠トスヘシトノ見解モアルヘキモ右附屬地ナルモノカ

aph stations ト規定アルコトヲ指摘シ支那線ヲ日本郵便局ニ延長スルコトハ到底承諾シ得サル旨主張セリ依テ日本側ヨリ本件ハ日支両系ノ電信聯絡ヲ主眼トナスモノナルヲ

以テ必スシモ原約定ノ文句ニ拘泥スルニ及ハサルヘク殊ニ公衆電報取扱ノ關係ヨリセハ郵便局ニ於テ聯絡ヲ行フコト便利ナルヘシト説得セルモ之又同意ヲ得ルニ至ラス

第四項ニ関シテハ事柄ノ性質上別ニ論議ナシ

第五項ニ関シテハ支那側ヨリ頻ニ苦状ヲ述ヘ殊ニ「事情ノ許ス限リ」ナル文句ハ甚タ不都合ナリト論難シ此第五項ニ對シテハ支那ニモ対案アリトテ多クヲ語ラス依テ日本側ヨリ本項ハ別ニ他意アルニアラス唯タ膠州灣方面ニ於ケル軍事施設ノ關係上一時ニ復旧ヲ承認スルコト困難ナル為斯ル留保的文句ヲ用キタルニ過キス日本ハ殊更ニ復旧妨クル所存ナキニ付誤解ナキヲ希望スト懇々弁明シ置キタリ

右ニテ日本ノ提案ニ對スル論弁ヲ終リ次テ日本側ヨリ支那側ニ向テ支那案ノ提示ヲ求メタル処別紙草案ヲ配付シ一応ノ説明ヲナセリ

標題ハ支那側ヨリ青島稅關取極ノ例ニ倣ヒ作成セルモノナルコトヲ説明セリ右ハ暫行ナル文字ヲ現ハサシテ實質ニ

商埠地内ニ在ル關係上理由薄弱ト認メ言及ヲ避ケタリシタルモ支那側ニ於テ其主張ヲ固執シテ容易ニ承諾スヘキ模様ナシ

次ニ郵便切手双互承認ノ件ニ關シテハ支那側ニ於テ前段即チ英文Aヲ承認シタルモ後段即チ英文Bニ付テハ在支那日本郵便局ノ採用スル郵便料率ヲ適用スルコトハ双互主義ノ精神ニ背キ現ニ獨支郵便約定第四条ノ規定ト反スルヲ以テ同意スルヲ得ス右ハ支那ノ内地郵便率ニ依ルコトナンタキ旨ヲ主張セリ依テ日本側ヨリ右ノ主張ハ一応尤モナルモ現ニ日支郵便約定第七条ニモ同様ノ規定アルノミナラス日本ノ郵便率三錢ニ対シ支那ノ郵便率ハ三分ナルヲ以テ実際上何等差異ナキニアラスマト弁明セルニ支那側ヨリ将来郵便率変更ノ場合アルヘキヲ予想セハ實際問題トシテモ到底同意シ得サルニ付是非共絶対双互主義トナシタシト主張シ之又同意ヲ得ルニ至ラス

第三項ニ關シテハ支那側ヨリ獨逸時代ニハ支那局ト直接停車場電報室トヲ聯絡シ居リ郵便局ヲ經由セサリシコトヲ述へ且ソ獨支電信約定第一条ニモ明ニ Connect the more important railway stations with its own local telegr-

於テ暫行的性質ヲ標榜スルモノナリト認メタルモ日本案第一項トノ關係上日本側ニ於テ論議ヲ見合セタリ

甲(一)ニ關シテハ日本側ヨリ直ニ同意ヲ表セリ

(二)ノ前段ニ關シテハ日本側ヨリ掛函柱函ニ對シテ迄場所ヲ限ラムトスルハ甚タ不条理ナルヲ以テ削除ヲ主張シ且郵便局ニ關シテモ日本案第二項ニ對スル主張ヲ繰返セリ後段ニ關シテハ日本側ヨリ此規定ハ具体的ニ謂へハ如何ナル郵便局及郵便函ヲ指スヤト質問セルニ支那側ヨリ右ハ軍事郵便局及附屬郵便函ヲ指ス旨言明セルニ付之ニ對シ日本側ヨリ膠州灣及山東鉄道カ現ニ軍隊ニ依リ占領セラレ居ル事実ニ顧ミ軍事通信ノ必要上軍事郵便局ヲ一律ニ撤去スルコトハ不可能ナルヘシト述ヘタルニ支那側ニ於テハ軍事郵便局ニ於テ普通郵便ノ取扱ヲ全廢スルコトヲ約セハ必スシモ固執スル趣旨ニアラサルヤノ意味合ヲ漏セリ

(三)ニ關シテハ日本側ヨリ大体ニ於テ異存ナキ旨ヲ言明セリ(四)乃至(六)ニ關シテハ日本側ヨリ獨支約定中何等斯ル具体的的规定ナキ様承知シ居ルニ付一応調査スヘキモ此種ノ事項ハ今回ノ取極ニ存シ置ク必要ナカルヘキニ依リ全然削除シ後

ト述ヘタルニ支那側ニ於テモ大体異存ナキ意向ヲ漏セリ
(乙)ニ関シテハ支那側ヨリ日本ノ提案ニ係ル郵便切手双互承認問題モ本規定ニ依リ独支約定ノ規定通り弁理シタキ趣旨ナルコトヲ陳ヘ日本側ヨリ日本案第二項ニ対スル主張ヲ繰返シ置キタリ

乙ノ(一)ニ関シテハ日本側ヨリ日本案第五項ニ対スルト同様ノ説明ヲ繰返シ尚同附帶事項ニ関シ左ノ通夫々弁明セリ

一、大連（旅順ノ誤解ナルヘシ）竜口間海底電線ハ軍事上ノ必要ニ依リ布設シタルモノナルカ右ニ付テハ今回何等訓令ヲ受ケ居ラサルヲ以テ差当リ商議ニ応シ難シ青島発着外國公衆電報取扱ノ件ハ別問題トシテ交渉スヘキ筋合ナルヲ以テ茲ニ論議スルコトハ見合セタキモ要スルニ本件ハ今回ノ協議ニシテ満足ニ纏ルヲ得ハ自ラ解決ヲ見ルニ至ルヘキ旨八月十四日付政機密送第一四五号貴信ニ基キ大体ノ説明ヲ与ヘ置キタリ〔本件ニ関シ支那側ヨリ日本ハ大連竜口海底線及竜口高密軍用陸線ヲ利用シ青島發着電報ノ取扱ヲナスニアラスヤトノ質問アリタルニ付竜口高密陸線ハ目下撤去中ナルヲ以テ斯ル事アル筈ナシト答ヘ交戦地域撤去ニ關スル外交部往復ノ要領ヲ内話シタ

ルニ然ラハ大連青島間無線電信ヲ利用シ居ルニアラスヤト述ヘ其上別ニ進ンテ推問セサリシニ依リ其儘トナシ置キタリ支那側ニ於テ青島佐世保間海底電線ノ存在ヲ承知シ居ラサルコトハ意外トスル所ナリ」
二、日本側ヨリ交戦地域内ニ設ケタル電信局及電線トハ竜口高密線ヲ指スヘキモノナルヘキカ右ハ上述ノ通撤去中ナリ遲クモ九月十日迄ニハ完了スヘク其以外ニハナキ筈ナリト答ヘ置キタリ

三、日本側ヨリ日本案第五項ニ対シ説明シ置キタル通り日本ニ於テ事情ノ許ス限り復旧ヲ承認スヘキハ勿論ナルモ日本ニ於テ修理ヲ加ヘテ原状ニ復セシムルコトハ承諾シ難カルヘキ旨弁明ヲ与ヘ置キタリ〔支那側ニテハ損害賠償案ヲ変更シ修理案トナシタルモノト認ム（八月三十日機密第二七五号拙信参照）〕

四、日本側ヨリ異存ナキ旨言明セリ

五、濟南無線電信撤去ノ件ニ付テハ日本側ヨリ右ハ軍事上ノ必要ニ基キ設置シタルモノニテ我軍隊力現ニ山東鐵道ノ守備ニ任シ居ル關係上軍事的見地ヨリシテ撤去ノ要求ニ応シ難シ尚該無線電信ハ規模小ナルノミナラス公衆電

信ニハ一切利用シ居ラサルヲ以テ支那側ニ於テ左迄顧慮スルニ及ハサルヘキ旨弁明シ置キタリ

乙ノ(二)及同附帶条項ニ関シテハ支那側ヨリ独逸時代ニハ実

際濟南外七個所ニ於テ聯絡ヲ行ヒ居リタルニ付之ヲ秘スルコトナク進シテ提議スル次第ナリト特ニ附言シタルニ付日

本側ヨリ日本ニ於テハ差向キ濟南ニ於ケル聯絡ヲ以テ足レリト認メ居ルモノト諒解スルモ本國ニ報告シ更ニ何分ノ義挨拶スヘク但シ尙クモ濟南ノ関スル限り支那側ノ提案ノ如ク停車場トノ聯絡ニ限ルコトハ不同意ナル旨繰返シ説明シ置キタリ

最後ニ支那側ヨリ支那側提案ハ特ニ草案ト附記シアル通り單ニ協議ヲ要スヘキ事項ト認メタルモノヲ列挙シタルニ過キス從テ配列ノ不備及ヒ重複ノ廉アルモ此等ハ日本側ノ希望ニヨリ如何様ニモ修正スヘク「暫」及「暫時」等ノ字句モ總テ削除スヘシ要スルニ支那側ノ希望ハ絶対ニ独逸時代ノ原状ニ復旧セシムルコトヲ理想トナスニ付日本側ニ於テ出来得ル限り讓歩アラムコトヲ希望スル旨申添タリ

〔附記一〕ノ附屬二

乙 号

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 附 四〇七

(乙)關於電務者

會訂青島在日本管理期間關於青濟中日郵電交涉解決辦法草案

計開

(甲)關於郵務者
(一)中國青島郵局照舊開設辦理

(二)濟青鐵路間除德國舊有郵局或信箱或信筒處所日本可在原處設立郵局或信箱或信筒外其因戰時在他處所設之郵局及信箱信筒均全行停止

(三)日本在濟青鐵路間按照第二條所設之郵局或信箱信筒其辦法應照德人原來辦法一律

(四)濟青鐵路每次火車開行須專掛郵車運送中國郵局郵件包裹等項並車上得派有中國郵局員役管理郵件郵務所有運費票價等項概免收取

(五)在濟青鐵路各站中國得安設信箱收受各項郵件以便行旅中國郵局員役在濟青鐵路各站可隨時上落裝卸郵包等件並可向各站中國信箱清理郵件

(六)按照第二條日本所設郵局與中國郵局互換郵件暫照從前中德辨法辦理

(一) 日本應將從前戰區內中國各電局及電線聯絡等項按照未開戰以前狀態一切復舊

其關於第一項應行商辦之最要問題如下

一、日本所設大連至龍口間之水綫應即廢止並廢除由日本達青島之臨時綫路取銷七月五日起收發外電之通告、按照一九〇八年中日合同第一款及一九一三年登陸合同第三款除經中國允准外日本不得在中國擴充綫路競爭權利

二、日本前在戰區內所設之電局電綫凡不屬於膠濟路綫者應即廢止

三、日本前在戰區內所佔借之各處電綫一律歸還中國並代爲修復原狀

四、青島原有之中國電局照舊開設營業

五、日本前因戰事在濟南龍口兩處所設之無綫電臺除龍口業已折卸外濟南無綫電臺應請一律折卸其關於第二項者中國允將下列之緊要各電局與膠濟路綫內各鐵路電報房最相鄰近者接綫通電

濟南商埠 周村 博山 濰縣 青州 膜州 城陽 青

島

(右和訳文)

日本カ青島ヲ管理スル期間中青島濟南間日支郵電交渉解決ニ關スル協定草案

(甲) 郵便ニ關スル件

一、青島ニ於ケル支那郵便局ヲ從前通り開設セシムコト

二、日本ハ山東鐵道ノ沿線ニ獨逸カ從來設置セル郵便局若クハ郵便掛函又ハ柱函所在地ニ於テ前同一ノ場所ニ郵便局若クハ郵便掛函又ハ柱函ヲ設置スルコトヲ得ルモ戰役ノ為メ他所ニ設置セル郵便局若クハ掛函柱函ノ類ハ全部其運用ヲ停止スルコト

三、日本カ前項ノ取極ニヨリ山東鐵道沿線ニ設置スヘキ郵便局若シクハ掛函又ハ柱函ニ關スル弁法ハ都テ独逸ノ原弁法ト同一タルヘキコト

四、山東鐵道列車ニハ列車毎ニ郵便專用車ヲ連結シ支那郵便局ノ通常郵便物及ヒ小包郵便物ヲ運送スヘク且ツ該專用車ニハ支那郵便局ヨリ吏員ヲ乗込マシメ郵便物ノ管理及ヒ事務ノ取扱ヲ為スコトヲ得ヘク都テノ運貨及ヒ乗車料等ハ一切之ヲ免除スヘキモノトス

五、山東鐵道各駅ニハ公衆ノ便宜ヲ計ル為メ支那ヨリ郵便掛函ヲ設ケ各種郵便物ノ引受ケラ為スコトヲ得ルモノトス

六、支那郵便局吏員ハ山東鐵道ノ各駅ニ於テ隨意ニ郵便行囊等ノ積ミ卸シヲ為シ又ハ各駅ニ設ケタル支那郵便掛函内ノ郵便物取扱ヲ為シ得ルモノトス

七、第二項ニヨリ設置セラルヘキ日本郵便局ト支那郵便局間ノ郵便物交換手続ハ當分從来ノ獨支間弁法ニ從フコト

(乙) 電信ニ關スル件

一、日本ハ從來交戰地域内ニ於テ支那電信局及ヒ電信線ト聯絡ヲ行ヒタル事項ヲ都テ開戦前ノ状態ニ復旧セシムルコト

二、日本ト支那ト一時的弁法ヲ協定シ以テ山東鐵道沿線各主要駅ノ電報室ト其附近ノ支那電報局トノ間ニ電信ノ送受ヲ行フコト

第一項ニ關シ商議ヲ行フヘキ重要事項左ノ通り

一日日本ノ布設セル大連竜口間海底電線ハ直ニ之ヲ廢止シ且ツ日本ヨリ青島ニ達スル臨時線路ヲ撤去シ同時ニ七月五日ヨリ外國電報ヲ送受スヘシトノ通告ヲ取消スコト

ト

五、日本カ曩ニ戰役ノ為メ濟南竜口ノニヶ所ニ設置セル無線電信機ハ已ニ撤去セル竜口ノ外濟南ノ分モ一律撤去

セラルヘキコト

六、第二項ニ關シ支那ハ左記ノ各主要電信局ト山東鐵道沿線ニ於ケル各鐵道電信室トノ間ニ最モ接近セル地点ニ於テ電線ヲ聯絡シ通電セシムヘキコト

濟南商埠 周村 博山 濰縣 青州 膜州 城陽 青島

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四〇七

五〇〇

丙 号 取 極 案

日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル郵便及電信業務ニ關スル取極

第一、日本國ハ青島ニ於ケル支那國ノ郵便局及電信局ノ再開ヲ承認ス

第二、支那國ハ濟南及濰縣ニ於テ日本國郵便局ノ開設ヲ承認ス

第三、日本國ハ山東鐵道電信線ヲ濟南ニ於ケル日本國郵便局ニ引込ミ支那國ハ同局ト濟南支那國電信局トノ間ニ電信線ヲ架設シ山東鐵道電信線ト支那國電信系トヲ聯結スルコト

第四、前記通信機関ノ運用方法及其他膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル郵便及電信業務ニ關スル一切ノ事項ニ付テハ總テ從前支那國ト獨逸國トノ間ニ行ハレタル弁法ヲ準用スルコト

年 月 日

官 氏 名

公 文 案 (一)

以書翰致啓上候陳者本官ハ山東省ニ於ケル通信事項ニ關シ左ノ通諭國政府ニ声明スヘキ旨帝国政府ノ訓令ニ接シ候

一、支那國通信機関ノ復旧ニ異議ナキコト

二、日本國軍事郵便局ニ於ケル公衆郵便物ノ取扱ヲ廢止スルコト

三、日本内地經由青島發着公衆電報ノ取扱ヲ廢止スルコト右照會得貴意候 敬具

年 月 日

官 氏 名

(註) 通信機関ノ復旧ハ支那側ノ熱望スル所ナルノミナラス今回

ノ取極成立後ニ於テモニ於テ尚其復旧ヲ阻止スルハ穩ナラスト存シ修理等ハ支那側ニ於テ担任スルノ条件ニテ同意スルコトニ御誼議相仰タシ

軍事郵便局ハ支那側ニ於テ廢止ヲ希望シ居ル關係上公衆郵便物ノ取扱ハ之ヲ廢止スルコトニ致シタシ

青島發着公衆電報取扱廢止ハ當然ノ義ト思料ス
本公司中山東省トハ膠州灣租借地ヲ含ム趣旨ナリ

(附記一)

大正四年十月二十五日附石井外務大臣發在中国小

幡臨時代理公使宛公信

以書翰致啓上候陳者本日調印セル日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル郵便及電信業務ニ關スル取極ニ關シ為念左記事項明確ニ致置度候間御承知相成度此段照會得貴意候 敬具

年 月 日

官 氏 名

左 記

一、濟南商埠地内ニ日本郵便局開設ノ義ハ支那側ニ於テ容易ニ

二、膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル日本郵便局發支那各地宛日本郵便物ニ對シテハ日本國ノ内國郵便料金率ヲ適用シ之ニ依リ貼付シタル日本郵便切手又支那國各地發前記日本郵便局宛支那郵便物ニ對シテハ在支那國日本郵便局ノ採用スル郵便料金率ヲ適用シ之ニ依リ貼付シタル支那郵便切手ハ双互ニ有効ト認ムルコト

以上

(註) 濟南商埠地内ニ日本郵便局開設ノ義ハ支那側ニ於テ容易ニ

承諾セサルヘク結局承諾スルトスルモ取極中ニ明記スルコトハ好マサルヘシト思料シ又郵便切手双互承認ノ義ハ事柄ノ性質ニ顧ミ共ニ為念公文ニテ取極メ置ク方可然ト認ム

公 文 案 (二)

山東ニ於ケル通信業務ニ關スル件

政機密送第二二六号

本件ニ關スル貴電第四八九号竝九月三日附機密第二七七号

貴信閱悉遞信省側トモ篤ト協議ヲ重不タルカ貴館ニ於テ調成相成タル該信添付丙号取極案竝公文案ハ當方ニ於テモ大体ニ於テ異存無之候ニ付右ヲ基礎トシ商議ヲ進ムルコトト致度依テ右取極案及公文案中増補又ハ訂正ヲ要スヘキ点竝参考トスヘキ遞信省ノ意見ノ主ナルモノヲ擧ヶ追テ郵報スヘキ公信接到ヲ俟テ商議ヲ開カレタキ旨往電第五五二号ヲ

以テ申進置候處其後遞信省側ニ於テ一方獨支間ノ電信協約中支那側ニ於テ今日マテ我方ニ對シ秘密ニ付シ居リタル点ニシテ我方ニ對シ有利ナル事實ヲ發見シタルト他方濟南郵便局予定敷地ヲ問題ノ商埠地内ヨリ現在ノ我野戰郵便局所在地ニ改ムルモ可ナリトノ議ヲ生シタルトニヨリ往電第五

五二号ノ趣旨ニ訂正又ハ増補ヲ加フルノ必要ヲ生シ結局左記ノ要領ニヨリ支那側ト交渉シ取極ヲ了シ度意嚮ニ有之候間右様御含ノ上支那側ト交渉方可然御取計相成度尚支那側ニ於テハ近來日本經由青島發電報ヲ途中ニテ差止メ居ル由ニ付此点ニ關シ支那側ヘ抗議方別信ヲ以テ申進候間之亦可

然御取計相成度此段申進候也

卷一百一十五

「取極案標題ハ青島稅關取極ノ例ニ倣ヒ冒頭ニ「現ニ」ノ文字ヲ加ヘ「現ニ日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地云々」ト記載シ
結當時ニハ日本ノ管理ノ下ニアルカ故ニ取極ノ標題トシテ「日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地云々」ト記載シ
置クモ差支ナカルヘキモ他日膠州灣カ日本ノ管理ヲ離ル
ル場合ニハ單ニ「日本國ノ管理ニ属スル膠州灣租借地云々」ノ標題ヲ有スル取極ニテハ一見同時ニ其効力ヲ失フ
モノト解釈セラルルノ嫌有之ニ付特ニ「現ニ」ノ文字ヲ
加ヘ取極ノ當時ニ於テハ膠州灣カ日本ノ管理ノ下ニアル
ヲ以テ「現ニ日本國ノ管理ニ属スル云々」ト記載スルモ
右ハ膠州灣ノ現状ヲ記載スルニ止マリ取極ノ目的トスル
地域ハ膠州灣其モノニシテ仮令将来該地域カ日本ノ管理
ヲ離ルルトモ右取極ハ引続有効ナリトノ解釈ニ依ルコト
ト致度當方内意ニ付右ニ御承知相成度尚右同様ノ理由ニ
ヨリ公文案ノ(一)ニモ「現ニ」ノ文字ヲ加フルノ要有之ハ
言ヲ俟タサル次第ナリ

郵便電信ニ関スル諸協約及ヒ從来ノ弁法ヲ全部提出セシ
メ研究ノ上追テ協議スルコト致シタントノ意見ニ付右
様取計ハレ度（右諸協約並從来ノ弁法提出ハ該諸協約及
弁法カ正確ニシテ且ツ其全部タルヘキコトヲ将来ニ対シ
確保スル為公文ヲ以テ我方ニ送付スルノ形式ニ拠ルヘキ
コト）但シ支那案甲ノ二柱函及掛函ノ場所ヲ限定スルコト
トハ同意シ難ク又四乃至六ハ獨支約定中ニ規定ナキ事項
ニ付今回ノ取極ヨリ削除シ別途ノ協定ニ讓ルコト致度

アリ
協約写) ハ支那政府ニ不利益ナル左ノ二点ヲ特ニ削除シ

其旨可然方法ニヨリ取極メ置カレ度シ
尤モ下記濟南郵便局予定敷地ノ件ニ関シ申進スル如ク遞
信省側ニ於テハ郵便局予定敷地ヲ問題ノ商埠地内ヨリ現
在野戰郵便局ノ所在地タル停車場構内ニ改メントノ議新
ニ起リ居リ目下研究中ニ属シ居ルニ付若シ右様改メラル
ルコトトナラハ該郵便局ハ停車場構内ニテモアリ又新設
停車場トモ極メテ接近シ居ル次第ニ付該郵便局ニ於テ電
信聯絡方支那側ニ交渉スルニモ都合宜敷カルヘシト思考
ス右貴官御含マテニ申添ニ

尚茲ニ特ニ注意スヘキハ最近我青島守備軍ヨリ同地前独立總督府保管ノ官文書綴中ヨリ発見シタル謄本ニ基キ漏信省ニ送付シタル別紙甲号独支電信協約ヲ見ルニ先年東京ニ於テ日支間電信問題交渉ノ際支那交通部委員ヨリ遞信省側ニ示シタル獨支電信協約ト内容ヲ異ニシ即曩ニ支那交通部委員ヨリ遞信省ニ提出シタルモノ（千九百十三

(イ) 我長崎上海間海底線ノ敷設ニ関シ千九百十三年十月四日日支両国委員間ニ調印セラレタル日支間海底線陸揚権約定第三条ニ於テ最惠國約款類似ノ規定ヲ挿入スルニ当リ帝国ハ広ク支那政府ト外国政府又ハ外国会社トノ間ノ關係ニ均霑スヘキコトヲ規定セント主張シタルニ當時商議ニ参加シタル大北電信会社代表者カ支那政府ト外國政府又ハ外国会社トノ電信協約ニ於テ支那政府ト他ノ外国会社トノ間ノ關係ニ均霑セシムヘキ規定ヲ設ケタル例アルモ支那政府ト外国政府トノ間ノ關係ニ均霑セシムヘキ規定ヲ設ケタル例ナシト断言セルヲ以テ遞信省側ヨリ独立支電信協約ノ写ヲ支那委員ニ要求シ同委員ヨリ前記協約ノ写ヲ遞信省ニ提出セリ然ルニ別紙甲号独立支電信協約第一条第二項ニハ独逸ハ支那ト外国政府外国電信主管厅又ハ外国会社トノ間ノ關係ニ均霑シ得ルコトヲ明記セリ

年八月十九日附書翰テ以テ支那側委員蔭祐林ミリ田中清信局長ニ送付シタル千九百七年五月三十日調印独支電信

(四)別紙獨支電信協約第三条乃至第六条ヲ見ルニ支那政府
ハ上海青島芝罘間ノ独逸海底線ト芝罘太沽北京間ノ支

那電信線トノ間ニ毎日四回及通信ニ余裕アル其ノ他ノ時間中独逸官報ノ送達ニ専用セシムル為必要ナル電信線ヲ建設スヘキコトヲ約シ居レリ其ノ後支那政府カ果シテ右電信線ヲ建設シ独逸政府ノ用ニ供シタルヤ否ヤハ目下遞信省ニ於テ取調中ナルモ本件ハ今回新ニ発見セル独逸ノ支那ニ対スル権利ナリ

尤モ今回支那側ヨリ公文ヲ以テ独支間郵便電信ノ協約其ノ他從来ノ弁法ヲ提出セシムルニ当リテハ特ニ右二点ニ触ルルコトナク追テ支那側ヨリ提出スヘキ公文書ニモ尚之ヲ秘密ニ附スルカ如キコトアリタルトキハ其ノ後當方ニ於テ發見シタルモノトシテ前記二点ヲ支那側ニ示シ支那側ヲ糾弾シ且前記(四)ニ記載シタル事項ヲ要求スルコトニ致度シ右御含ミ迄申添ユ

四、公文案(一)濟南商埠地内ニ日本郵便局開設方ニ關シテハ再応支那側ト交渉ヲ重ネラレ我方ノ主張ヲ貫徹スル様御尽力アリ度尚遞信省ニ於テハ予定敷地ハ商埠設定以前膠濟鐵道ニ買收セラレ爾後支那側ヨリ買收セラレタルコトナク(大正三年十二月二十二日附在濟南林領事堯加藤大臣宛機密第一六号等参照)從テ商埠地域内ニ編入セラレ

於テ行フト云フモ不可ナキコトトナリ事實上支那側トノ一紛争ヲ避クルコトヲ得ヘシト思料ス但シ我野戰郵便局新築予定地ノ変更ニシテ確定セハ更ニ通報可致モ右變更新ニ於テモ旧新築予定地ニ闕スル獨支郵便約定及獨支電信約定解釈上ノ我主張ハ主義トシテ之ヲ曲ケサルコトトシ唯郵便事務取扱上ノ實際ノ便宜ニ基キ我郵便局新築予定地ヲ変更シタルモノナルコトヲ支那ニ説明セラルル様致度右御含迄申添ユ

五、公文案(一)ニ郵便切手ノ件ニ關シ遞信省ニ於テハ支那案ノ相互主義ヲ認ムヘキモ右ハ獨支間仏支間並香港支那兩郵政局間ノ約定ニ倣ヒ山東省ノミニ止マラス弘ク支那全般ニ適用スルコト致シタキ考ニテ前掲諸約定ト同様支那全國ニ在ル各日本郵便局ヨリ支那内地ニ宛テタル郵便物ニ貼用シタル日本郵便切手ヲ支那ニ於テ承認スルニ於テハ支那各地発山東省及其他ノ在支各日本郵便局宛郵便物ニ対シ支那ノ料金率ニ依リ貼用シタル支那切手ヲ日本ニ於テ承認スルコトトスルモ差支ナシトノ対案ヲ提出セントス、右支那内地全般ニ対スル我郵便切手ノ効力ヲ拡張スルノ一事ハ我方ニ於テ夙ニ希望シ居リシ所ナル次

タル事實無之趣ナルヲ以テ商埠地外トモ認メ得ヘントノ意見ナリ尤モ右新築予定地ハ右ニ述ヘタル独支郵便約定ノ解釈及取極案第三ニ關シ前記第二項ニ於テ述ヘタル如ク独支電信約定第一条ノ解釈ニ付支那側トノ爭議アルニ依リ全問題ノ解決ヲ遲延ゼシムル虞歎カラス一方濟南西停車場ノ新築計画モ愈々我野戰郵便局現在地ノ東北ナル從来ノ予定地ニ新築スルコトニ確定シタル為メ新停車場トノ郵便物受渡上ノ便宜ヲ図リ我野戰郵便局新築予定地ヲ変更シ新停車場新築予定地ト連続シタル鐵道附屬地内ニシテ其ノ西南ニ当ル我野戰郵便局現在地ヲトシ商埠境界線ヲ限度トシ其ノ境界線以北ニ(我野戰郵便局現在地ノ家屋ハ幾分商埠界外ヨリ商埠界内ニ跨レル形跡アルヲ以テ今回変セントスル郵便局新築予定地ハ特ニ右商埠地ノ境界ヲ限度トスルモノノ如シ)野戰郵便局新築ノ計画ヲ樹テ目下陸軍遞信兩省ニ於テ協議中ノ趣ニ付果シテ画ヲ樹テ目下陸軍遞信兩省ニ於テ協議中ノ趣ニ付果シテ右ノ如ク我郵便局新築予定地ヲ変更スルトセハ獨支郵便約定ニ所謂商埠地外ニ郵便局ヲ設置スルコトナルノミナラス濟南ニ於ケル日支電信連絡ヲ右郵便局ニ於テ行フコトトセハ獨支電信約定第一条ニ規定スル通停車場内ニ

第六七月二日附政機密送第一一一号往信ヲ以テ申進タル通ナル處今般偶々支那側ヨリ郵便切手相互主義ヲ主張シ來リタルニ付此機ヲ利用シ現行日支約定第六条但書ノ不備ヲ補ヒ在支那日本郵便局ノ支那内地ニ対スル業務ヲ拡張セントスルモノナレハ右御含ノ上當方ヨリハ表面支那側ノ主張ヲ容ルルノ形ニ於テ該案ヲ提出セラレタク又遞信省ノ希望トシテハ右同様ノ制度ヲ小包郵便ニモ適用セシメタキ由ノ處小包郵便ニ關シテハ前掲獨、仏、香支約定ニ同様ノ規定ナキニ付支那側ハ恐ラク反対スルコトナラント察セラルモ一応申入アリ度シ尚右新案取極ノ結果現行日支約定第六条但書ハ効力ヲ失フヘキモ第七条ハ依然有効タルヘキハ勿論ナリ

六、公文案(一)ノ一二関シテハ膠州灣租借地内ノ支那電信線ヲモ包含シ居ル關係上本來現下ノ戰役終了後日獨間媾和條約ノ締結ヲ待テ決定スルモ遲シトセサル問題ナルモ支那側ニ於テ特ニ其ノ通信機關ヲ至急復旧スル必要アリトシ自ラ修理ノ任ニ当ル義ナレハ異存ナシ

七、公文案(一)ノ二、日本軍事郵便局ニ於ケル公衆郵便物ノ取扱廢止ハ濟南及濰縣ノ閔スル限りハ本取極ニヨリ開設

セラルヘキ日本郵便局ノ事務開始ト共ニ行フヘキコトトシ差支ナキモ山東鉄道沿線ニハ現ニ多數ノ日本人居住シ居リ此等ハ皆沿線各地ニ在ル軍用郵便局ニヨリ通信ノ目的ヲ達シ居ル次第ニ付此等ノ軍用郵便局ニ於テ公衆郵便ノ取扱ヲ廢止スルハ實際上不可能ノ事ニ属スルヲ以テ右ハ依然繼續スル考ナリ（独逸ハ濟南及濰縣ノ兩郵便局ヲ有スルニ過キサリシカ右ハ山東鉄道沿線ニ於ケル独逸人ノ居住者極メテ小数ニ過キサリシヲ以テ別段不便ヲ感セサリシニ依ルモノト察セラルモ我方ノ場合ハ全然之ト反スルニ付是非共現在ノ狀態ヲ繼續スルノ必要アリ而シテ他日我軍カ全然鐵道沿線ヨリ撤退スル場合ニハ沿線中必要ナル場所ニ郵便受取所等ヲ設クル考ナリ）尚軍事郵便局其モノハ軍事上ノ必要アル限り之ヲ撤廃シ得サルハ申ス迄モナキ所ナリ

八、公文案(1)ノ三、日本内地經由青島發着公衆電報ノ取扱ハ七月五日ヨリ実施セル外國電信ニ閑シテハ青島ニ於ケル支那電報局ノ復旧及山東鉄道電線ト支那電線トノ聯絡実施ト共ニ自然廢止ノ形トナルヘシ但シ青島佐世保間ノ海底線ニヨル通信ハ別紙乙号ニ記載セル通信省側ノ意見可然御取計アリタシ

尚別紙乙号遞信省側ノ意見ハ支那側トノ交渉上貴官御参考マテニ考量ニ入ルモノニシテ別項記載青島佐世保間海底線ノ存在ヲ此際我方ヨリ進シテ之ヲ支那側ニ通知セサルト同一ノ理由ニヨリ右我方ノ意嚮ハ目下ノ處之ヲ支那側ニ知ラシメサル考ニ付右様御含アリタシ右ハ上掲ノ次第モアリ御諒解ノコトト存スルモ為念申添ニ尚取極案以外ノ諸問題ニ闕シ

一、青島佐世保間海底電線ニ閑シ此際我方ヨリ進シテ之ヲ支那側ニ通知スルハ却テ支那側ヲシテ該線ノ撤去等ヲ要求セシメ事面倒ナルヘキニ付見合セラレタク若シ支那側ヨリ内地青島間ノ通信方法ニ付質問アリタルトキハ其方法ノ有線電信ナルヤ無線電信ナルヤ將タ何レノ点ニ於テ

ノ如ク一面ニハ軍事上ノ理由ニヨリ他面ニハ独逸カ有セシ青島上海及青島芝罘線ノ代用トシテ依然繼續セシメ度考ナルニ付右様御含置相成度又七月五日ヨリ外國電報ヲ送受スルノ通告ヲ取消スヘシトノ支那側ノ要求ニ閑シテハ前掲ノ通リ山東鉄道電信系ト支那電信系トノ聯絡ノ結果外國電信ハ事實上青島佐世保線ニ依ラサルコトトナルヘキモ其後ト雖モ我方ニ於テハ青島ト日本ノ内地間ノ電信ハ勿論場合ニヨリテハ日本經由外國行ノ電信ヲモ取扱フコトアルヘク殊ニ山東鉄道電信系ニ故障アルトキハ独逸時代ニ於ケル如ク海底線即チ目下ノ狀態ニ於テハ青島佐世保線ニヨルノ必要アルヘキヲ予想シ居ル義ニ付此際我ヨリ進シテ七月五日ヨリ実施セル外國電報ニ閑スル通告ヲ取消スコトナク別紙乙号末段ニモ記載セル通リ寧ロ支那側ヲシテ青島ヘノ電信連絡復旧セル旨ヲ万國電信聯合總理局ヘ通告セシメ其結果青島ニ發着スル外國電信ハ自今山東鉄道電信系ニヨリ日本經由ノ方法ハ自然消滅セル形ト相成ル様致シタシ、右様ノ次第ニテ我方ニ於テハ此際日本内地經由青島發着外國電信ノ将来ニ閑シ支那側ニ対シ何等正確ナル言明ヲ為スヲ欲セサル次第ニ付本件

於テ独逸ノ権利繼承方ニ関シ既ニ一般的ニ支那側ノ承諾ヲ得居ルニ拘ラス山東郵電問題ニ関シテハ多少変更ヲ要スル廉アルカ為特ニ商議ヲ開始シタル次第ナリ然ルニ九月一日ノ會議ニ於テハ独逸カ山東省ニ関シ有シタル郵便電信上ノ諸他ノ権利及特權ニ就テハ討議セラレタルモ青島芝罘及青島上海間ノ海底線ニ関シテハ彼我委員ノ間ニ何等議事ニ上ラス又七月二十三日附通信局長書翰添付書第一項ニ於テモ膠州灣租借地及山東鐵道沿線各地ニ於テ独逸カ有セシ権利及特權ト記載シリ膠州灣ヲ起点トシテ上海及芝罘ニ到ル海底線ニ関スル権利ニ付テハ明確ニ記載シアラサルヲ以テ万一支那側ニ於テハ日本ハ既ニ日支条約ニ依リ山東省ニ関シ包括的ノ権利ヲ取得シ居ルニ拘ラス今回郵便電信問題ニ關シ特ニ某々ノ事項ヲ列挙シテ支那側ノ承諾ヲ求ムル以上右要求中ニ列挙セサル事項例ヘハ本件海底線ニ関シテハ日本ハ独逸ノ権利繼承ノ考ナキモノト誤解スルコトナキヲ保シ難クト掛念セラルルニ付次回ノ會議ニ於テハ為念右海底線ノコトニ言及シ該権利ハ帝国ニ於テ当然繼承スヘキモノナルニ付将来必要ノ際ハ右海底線ヲ復旧シ上海及芝罘ニ於ケル日本郵便局

ニ引込ムコトアルヘキ旨声明シ置カレタシ尤モ右ハ支那側ニ於テ取極ヲ飽ク迄暫行のモノタラシメントスルノ意志ナルニ顧ミ青島ニ於ケル我郵便局承認ノ問題ト同様此際之ヲ支那側ニ提出スルモ到底其ノ承諾ヲ得ルノ望ナキヤモ計ラレサルモ前掲ノ如ク本件ハ今日迄彼我ノ間ニ島ニ於ケル我郵便局ノ如ク現ニ事務ヲ取扱居ルモノト異リ今後適當ノ機会ヲ捉ヘテ聯絡ヲ開始セシメサルヘカラサルモノナレハ其ノ際ニ於ケル行掛リヲ作リ置ク為ニモ此際兎ニ角支那側ニ申入レ置ク要アル次付右様御含ノ上可然御取計アリタシ

追テ機密第二七七号貴信附屬甲号ニヨレハ九月一日會議ノ席上支那側委員ヨリ客冬田中通信局長來京ノ砌周郵伝司長ト山東通信問題ニ付会談シタルハ事実ナルモ當時支那側ヨリ提議ヲナスヘシトノ約束ヲナシタルコトナク七月二十三日附田中局長ノ書面ハ聊カ意外ニ思料スル旨ヲ述ヘタル由ノ処右ニ関シ遞信省ヨリ田中局长ノ言明ニヨレハ本年二月同局長ト周司長ト会談ノ際支那側ヨリ提案方ニ関シ確カニ約束シタルモノニシテ

コノコトハ同局長ニ於テ北京公使館及同司長ニ残シ置キタル会談要領中ニモ略記載シアリ之カ通訳ノ任ニ当リシ權量ニ於テ知悉セサル筈ナク思フニ何等カノ事情ニヨリ支那側ニ於テ故ラニ否定セントスルモノナラント思料セラルル旨通報有之候御参考マテニ右申添候也

(附記三)

大正四年十月三十日附石井外務大臣発在中国小幡臨時代理公使宛公信

日本經由青島發着外國電報ヲ支那側ニ於テ停

政機密送第二二二号(急)

山東ニ於ケル通信業務ニ関スル本月二十五日附政機密送第二六号往信中支那側ニ於テ近來日本經由青島發着ノ電報ヲ途中ニテ停止セシメ居ル件ニ關シ一応申進置候次第有之候處本件ニ關シ青島守備軍通信部長ヨリ陸軍當局ニ宛テ別紙写ノ通申出アリタル趣通信省ヨリ移牒有之候惟フニ日本經由青島發着外國電報ヲ日本側ニ於テ取扱フハ從来屢次申進候通

(一)現下ノ日獨戰爭繼續スル限り帝国ハ内地青島間ニ軍用ノ

通信設備ヲ設ケ是レニ依リ軍事上必要ナル我方官報及公衆電報(例ヘハ軍需品ニ関シ御用商人ノ發受スル外國電報ノ如キハ軍事上必要ナル公衆電報ノ一ナリ)ヲ取扱フ自由アルコト
(二)獨治時代ニ於テ青島ヨリ山東鐵道電信系ヲ經テ支那其他ノ外國トノ間ニ電報ヲ往復シタル時ニ於テモ尚独逸ハト支那其ノ他ノ外國トノ通信ヲ取扱ヒ而カモ右独逸ノ海底線ハ青島芝罘間ニ海底線ヲ有シ是レニ依リテ青島ト青島上海及青島芝罘間ニ海底線ヲ有シ是レニ依リテ青島内地間ノ軍用設備ニ依ルノ外他ニ通信ノ途無キヲ以テカ其ノ代用トシテ青島内地間ノ軍用設備ニ依リ外國電報ヲ取扱フハ當然ノ事態ニ属スルコト
(三)況ソヤ實際上目下青島ト支那其ノ他ノ外國トノ間ニハ青島内地間ノ軍用設備ニ依ルノ外他ニ通信ノ途無キヲ以テ帝国カ日本ヲ經由シテ外國電報ヲ取扱フニ必要欠クヘカラサル措置ナルコト

等ノ事情ニ照シ本件ノ取扱ハ毫モ不可ナシト認メラル縱令支那側カ是レニ対シ見解ヲ異ニシ右取扱ノ廢止ヲ希望シ居ルトスルモ本件ノ如キハ彼我兩國間ノ商議ニ於テ其ノ理非

ヲ窮メ然ル後其ノ存廃如何ヲ決定スヘキ筋合ノモノナリ然

ルニ頃者支那カ其ノ電信系上ニ於テ日本經由青島發支那各地宛電報ヲ妄ニ停止セシメ其ノ主張ヲ貫徹セムトスルカ如

キハ事態甚穩當ナラサルノミナラス是レカ為ニ青島ハ再ヒ支那内地トノ電信連絡ヲ失ヒ不尠不便ヲ感ス仍テ本月二十

五日附政機密送第二一六号ヲ以テ申進メタル佐世保青島線問題及山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉解決後ニ於ケル

日本經由青島發着外國電報取扱ノ問題ト離レ此ノ際右電報停止ノ件ノミニ関シ特ニ前記ノ事情ヲ支那側ニ説明シ速ニ

其ノ反省ヲ促シ山東ニ於ケル通信業務ニ関スル彼我ノ交渉解決ヲ告クル迄日本經由青島發着外國電報ノ取扱ハ從前ノ通継続セシメ今後ハ断シテ電報ノ停止ヲ為スカ如キコトナカラシムル様交渉方可然御取計相成度此段申進候也

追テ別紙青島守備軍通信部長發陸軍省軍務局工兵課長宛公信書中其ノ別紙第一ノ二ニ記載アル今後ノ日本經由青島發支那各地宛電報ノ取扱方ニ関シテハ目下遞信省当局ニ於テ詮議中ニ付御含迄此段申添候也

(附記四)
大正四年十一月十三日附在中国小幡臨時代理公使
島發支那各地宛電報ノ取扱方ニ關シテハ目下遞信省当局ニ於テ詮議中ニ付御含迄此段申添候也

公信書中其ノ別紙第一ノ二ニ記載アル今後ノ日本經由青島發支那各地宛電報ノ取扱方ニ關シテハ目下遞信省当局ニ於テ詮議中ニ付御含迄此段申添候也

前記諸項ノ内(一)ハ支那側ニ於テ独支協定ヲ権ニ取り頗ル强硬ニ主張シ居ル処右ハ相當理由アリト認メラルノミナラス已ニ我遞信省ニ於テ停車場構内ニ変更ノ義計画中ノ趣ナルニ付テハ理論上ハ兎モ角事實上支那側ノ主張ヲ容ルルコトトシ速ニ決定ノ上交渉進行ニ資スルコトニ致度(二)ハ支那側ノ主張謂ハレナキニ付飽迄之ヲ排斥シ細目ハ後日地方的協定ニ委スルコトニ同意セシムル様此上共尽力可致(三)ハ支那側ノ主張理論上至当ト認メラルニ付結局ハ表面上我方ニ於テ支那側希望通り公衆郵便物取扱廢止ヲ約束シ實際ニ於テ何等カノ変通方法ヲ講スルノ外之ナカルヘク四ハ之又支那側ノ主張尤モニ付小包郵便物ハ全然除外スルコトニ同意シ然ルヘク五ハ我国ニ於テ軍事上ノ必要ヨリシテ青島内地間ニ電氣通信ノ途ヲ閉クコトニ付テハ支那側ヨリ彼是論議ヲ挾ムヘキ筋合ニアラサルコト勿論ナルモ苟モ右軍用通信機関ニ由リ公衆電報ヲ取扱フ場合ニハ其事情ノ如何ヲ問ハス日支間現行約定ニ違反スルコト多言ヲ要セサル義ニ有之(七月二十八日外務大臣發遞信大臣宛電機密第四四号參照)前記貴信政機密送第二一六号添付ニ係ル遞信省側ノ意見ナルモノハ權利義務ノ問題ト利害問題トヲ混同シタル嫌

発石井外務大臣宛公信

山東ニ於ケル通信業務ニ関スル件

第三四八号(機密)

(同年十一月二十二日受)

本件ニ關シ客月二十五日附政機密送第二一六号ヲ以テ委曲御訓令ニ接シ候ニ付篤ト攻究ヲ遂ケタル上當方ヨリ支那側ニ提出スヘキ取極草案及公文取極要領ヲ夫々別紙乙号及丙号ノ通り作成シ(別紙丁号説明書参照)本月九日當館ニ於

テ第二回下協議ヲ開催シ前回同様出淵、高尾両書記官、権参事、徐、周両科長出席別紙甲号所載ノ通全部ニ亘リ協議ヲ遂ケ候間委細別紙ニテ御詳悉相成候様致度候

今回會議ノ結果彼我ノ争点略ホ明瞭ト相成候處支那側ニ於テ最モ強硬ニ主張スルハ要スルニ左ノ五点ニ有之候(一)我濟南郵便局ヲ停車場構内ニ設置スルコト

(二)獨支間ニ事實上實行シ居リタル事項ヲ文書ニテ取極ムルコト

(三)我軍事郵便局ニ於ケル公衆郵便物ノ取扱ヲ廢止スルコト

(四)小包郵便物ノ料金ニ對シテハ双互主義ヲ適用セサルコト

(五)青島ニ於ケル日本經由外國電信ノ取扱ヲ廢止シ且其旨我方ヨリ聯合總理局ニ通告スルコト

(附記四ノ附屬一)

甲号

大正四年十一月九日山東郵電問題第二回協議経過

日本側ヨリ先ツ九月一日第一回會議ノ際支那側ヨリ客冬田中局長ト周司長ト山東通信問題ニ付会談シタルハ事實ナルモ支那側ヨリ提議ヲ為スヘシト約シタルコトナント述ヘラレタル次第八為念外務省ニ報告シ置キタル処今回外務省ヨリ田中局長ノ言明ニ依レハ當時確ニ支那側ヨリ提議スルコトニ約束成立シ右ハ其際通訳ノ任ニ当ラレタル權量氏ニ於テ承知セラレ居ル筈ナリトノ回答ニ接シタル趣ヲ述ヘタルニ權氏ハ或ハ然ランモ兎ニ角自分ハ左様ノコトハ記憶セスト答ヘタルニ付日本側ヨリ已ニ両国和平互讓ノ態度ヲ以テ山東通信問題ヲ解決セント欲シ現ニ協議進行中ノ今日斯ル

已往ノ事柄ニ関シ彼是論議スルモ詮ナキコト故之ニテ打切
リト為スヘキモ苟モ責任アル田中局長ニ於テ約束セサリン
コトヲ約束セリト称スル筈ナク又其ノ必要モナカルヘシ切
ニ誤解ナカラムコトヲ希望スト告ケ

次テ第一回会議ノ際支那側ヨリ提議セル事項中

一、閔東州竜口間海底電線廃止

二、交戦地域内ニ設置セル電信局及電信線廃止

ノ二件ハ九月上旬ヲ以テ執レモ悉ク实行ラ了シ今ヤ膠州灣
租借地以外ニハ我カ新設ノ電信局及電信線ハ最早一モ存ス
ルナシ帝国政府ハ軍事上絶対的ニ必要アルニアラサレハ決
シテ叨リニ支那ノ領土内ニ其通信機関ヲ設置セントスルモ
ノニアラサルコトハ十分諒解アリタシト説示シタルニ支那
側ハ右説明ニ對シ大ニ満足ノ意ヲ表セリ

次イテ日本側ヨリ青島芝罘上海間海底電線繼承問題ニ言及
シタルニ支那側ニ於テハ今回ノ交渉ハ日独講和ニ至ル迄ノ
間暫行的ニ通信聯絡方法ヲ取極ムルコトヲ主眼トスルモノ
ナルヲ以テ右繼承ノ義ハ山東條約第一條ノ規定モアリ将来
ノ問題ト為シタント逃ヶ到底慮諸ノ模様ナカリシニ依リ程
能ク打切り

同第一ニ関シ 支那側同意 ヘタリ

同第二ニ関シ 支那側ヨリ郵便局所在地ハ獨協定通り商埠地外ト限定 シタント主張シ日本側ヨリ大体第一回会議同様ノ論駁ヲ 繰返シタルモ支那側ニ於テハ絶対ニ同意セス

同第三ニ関シ 支那側ヨリ郵便局所在地問題ト 會議ノ際支那側カ停車場電報室トノ聯絡ヲ主張シタル行 掛アルニ顧ミ日本側ヨリ試ニ日本カ停車場構内ニ郵便局 ヲ設立スルコトセハ郵便局トノ聯絡ニ異存ナキヤト推

第一項ニ付テハ支那側ヨリ本問題ハ郵便局所在地問題ト
關係アルニ付差向キ協議ノ余地ナシト述ヘタルモ第一回
會議ノ際支那側カ停車場電報室トノ聯絡ヲ主張シタル行
掛アルニ顧ミ日本側ヨリ試ニ日本カ停車場構内ニ郵便局
ヲ設立スルコトセハ郵便局トノ聯絡ニ異存ナキヤト推

問シタルニ之ニ對シ支那側ハ果シテ左様ノコトトモナラ
ハ必スシモ停車場電報室トノ聯絡ヲ固執セサルヘキ意向
ヲ洩セリ

第二項ニ付テハ支那側ヨリ地名列挙方ヲ申出タルニ依リ
日本側ヨリ「他地方」トナシタルハ文句ヲ簡単ニセムト

ノ趣旨ニ出タルニ過キサルヲ以テ地方列記ニハ異存ナシ
ト答ヘタリ

同第四ニ関シ

支那側ヨリ本規定ハ余リ漠然タルヲ以テ今少シ具体的ト
ナシ総令ハ前回提出セル支那側草案（甲）ノ一、四、五、
六等ノ大要ヲ明記シタント主張シタルニヨリ日本側ヨリ
是等ノ事項ハ独支間ニ何等成文ノ約束ナキ様承知シ居ル
ノミナラス仮ニ之アリトスルモ是等細ノ事項ハ後日地

方的ニ如何様ノ取計モ出来得ヘキニ付今回ハ主義上ノ問
題ニ止メ置ク方可然北京ニ於ケル交渉ニ於テ郵便函ノ所
在地点迄モ取極メムトスル義ナラハ談判ハ寧ロ中止スル
方可ナルヘシト責メ尚其機會ヲ以テ実ハ日本ニ於テハ独
支間ノ弁法ハ殆ト承知シ居ラサルニ付弁法ノ根本タルヘ
キ諸約定及往復文書其他一切ノ慣行ヲ明記シテ示サレタ
ク

同二ニ関シ

支那側ヨリ先ツ山東鐵道沿線ニ於ケル軍事郵便局全部ノ
撤廃ヲ強硬ニ主張セルモ日本側ヨリ日本軍カ山東鐵道ヲ
占領シ居ル間ハ軍事行動ノ必要上軍事通信機關ヲ存置ス
ルハ當然ナリ之カ撤廃ハ断シテ同意シ難シト反駁シタル
ニ結局支那側ヨリ然ラハ「軍事郵便局ハ軍隊撤退ト共ニ
之ヲ撤廃スヘキコト及軍事郵便局ニテハ公衆郵便物ヲ一

次テ別紙取極草案及公文取極要領ヲ支那側ニ交付シ逐次説
明ヲ加ヘタルニ
取極草案標題ニ関シ
支那側ヨリ大体同意ナルモ取極ノ上ニ「日支」ノ二字ヲ
加ヘタキコトヲ主張セルニ付日本側ヨリ右ハ更ニ其必要
ナシト認ムルモ強テ希望セラルルニ於テハ異存ナシト答

明ヲ加ヘタルニ

切取扱ハサルコト」ヲ約束セラレタシト主張シ尚濟南ニ現ニ北京正陽門側ニ
線電信ノ撤廃方ニモ論及セルニ付日本側ヨリ前記軍事郵

便局ニ対スルト同様ノ反駁ヲナシ且現ニ北京正陽門側ニ
米國ノ強力長大ナル無線電信装置ヲ容認シ得ル支那ニシ
テ濟南ノ片田舎ニ於ケル而モ弱力倭少平常殆ト使用シ居
ラサル我無線電信ヲ兎ヤ角謂ハルル程ノコトモナカルヘ
シト述ヘタルニ支那側ヨリ然ラハ右無線電信モ軍事郵便
局同様軍隊撤退ト共ニ撤廃スヘキコトヲ約サレタント申
出タリ仍テ日本側ヨリ軍事郵便局及無線電信ヲ軍隊撤退
ト共ニ撤廃スルコト丈ケナレハ帝国政府ニ於テ異存ナカ
ルヘシトハ思料スルモ軍事郵便局ニ於ケル公衆郵便物取
扱停止ノ義ハ現ニ山東鐵道沿線各地ニ多数ノ本邦人散居
シアル關係上容易ニ同意シ兼ヌル事情アルニ付兎ニ角政
府ニ報告ノ上追而確答スヘシト申述ヘ置タリ

同第三ニ闇シ
支那側ヨリ小包郵便物ニ付テハ現ニ獨支約定第八条ニ別
個ノ規定アリ普通郵便物同様ノ取扱ヲナスコトハ到底応
諾シ難シ普通郵便物ニ闇シ支那側主張通り双方主義ヲ容
レラレタルコトハ諒トスルモ適用ノ範囲ヲ拡張セラレタ
ラルニ於テハ寧ロ支那政府ヨリ聯合總理局ニ対シ右復旧
ヲ通告セラルコト然ルヘキ旨ヲ説示シタルニ支那側ニ於
テハ依然其主張ヲ固執シ是非共通告取消ヲ約セラレタキ旨
論述セリ

將又本件論議ノ際支那側ヨリ青島及日本内地間ノ通信聯絡
方法等ニ付テハ強テ質問ナカリシモ大体ノ語氣ニ依レハ先
方ニ於テハ青島大連間ニ我海底電線存在スルモノト看做シ
居レルカ如シ尚日本側ヨリハ最近支那ニ於テ青島発着外國
電信ヲ停止シタル事實アルコトヲ指摘シ今ヤ山東通信問題
ニ關シ商議進行中支那側ニ於テ斯ル態度ニ出ツルハ甚タ面
白カラサル次第ニ付将来斯ルコトナキ様注意アリタキ旨警
告ヲ与ヘ置キタリ

以上問題ノ全部ニ亘リテ討議ヲ悉シタル末支那側ヨリ第三
回會議迄ニ対案ヲ提出スルコトナリタルヲ以テ日本側ヨ
リ右対案ハ出来得ル限り我提案ヲ尊重シ字句等ニ無益ノ修
正ヲ加ヘサルヘキハ勿論枝葉ニ亘ル事項ハ一切省カレタキ
旨重ネテ注意シ置キタリ（終）
(附記四ノ附屬二)

乙 号

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四〇七

ルコトナレハ篤ト攻究ノ必要アルニ付追テ確答スヘシト
答ヘタリ

右ニテ我方新提案ニ対スル論議ヲ終リタル後支那側ヨリ青
島ニ於ケル外國電信取扱停止ノコトハ何等日本側ノ新提案
ニ記載ナキ所右ハ如何セラル積ナリヤト切出シタルニ付
日本側ヨリ今回協議中ノ取極ニシテ成立スルニ至ラムカ本
件ハ事實上解決ヲ告クルコトナルヘシト思料シ別ニ取極
メサル方針ナリト告ケタルニ之ニ対シ支那側ハ日本側ニ於
テ取極成立ト共ニ是非共右取扱ヲ廢止スルハ勿論同時ニ万
國電信聯合總理局ニ向テ曩ニ發シタル本件通告ヲ取消スヘ
キコトヲ約セラレタキ旨熱心ニ主張セリ仍テ日本側ヨリ日
本ニ於テ青島ニ於ケル外國電信取扱ヲ開始シタルハ全ク一
時ノ弁法ニシテ而モ之ヲ實行スルニ至リタルハ專ラ公益ヲ
圖ルノ趣旨ニ出てタルニ過キス今回ノ山東通信聯絡取極ニ
シテ首尾克成立ヲ見ルニ至リ支那電信系ト山東鐵道電信線
ト聯絡セムカ青島トノ通信ハ自然支那電信系ヲ經由スルニ
至ルヘキハ殆ト疑フ容レサル所ナルヘシ從テ日本ヨリ態々
曩ニ發シタル通告ヲ取消スノ必要ナカルヘシ若シ支那政府
ニ於テ青島トノ電信復旧ヲ広ク告示スルコトヲ必要ト認メ

取 極 草 案

現ニ日本國ノ管理ニ屬スル膠州灣租借地及山東鐵
道沿線ニ於ケル郵便及電信業務ニ關スル取極

第一、日本國ハ青島ニ於ケル支那國ノ郵便局及電信局ノ再
開ヲ承認ス

第二、支那國ハ濟南及濰縣ニ於テ日本國郵便局ノ開設ヲ承
認ス

第三、日本國ハ山東鐵道電信線ヲ濟南ニ於ケル日本國郵便
局ニ引込ミ支那國ハ同局ト濟南支那電信局トノ間ニ電信
線ヲ架設シ山東鐵道電信線ト支那國電信系トヲ聯結スル
コト

将来必要ト認ムルトキハ山東鐵道沿線ノ他地方ニ於テモ
右ノ例ニ倣ヒ聯結ヲ行フモノトス
第四、前記通信機關ノ運用方法及其他膠州灣租借地及山東
鐵道沿線ニ於ケル郵便及電信業務ニ關スル一切ノ事項ニ
付テハ總テ從前支那國ト獨逸國トノ間ニ行ハレタル弁法
ヲ準用スルコト

年 月 日

官 氏 名

(附記四ノ附屬三)

丙号

公文取扱要領

一、日本國ハ支那國カ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル通信機関ヲ修理シ之ヲ復旧セシムルコトニ対シ異議ナキコト

二、日本國ハ濟南及濰縣ニ於ケル日本國郵便局ノ業務開始ト共ニ右両地ニ在ル軍事郵便局ニ於ケル公衆郵便物ノ取扱ヲ廢止スルコト

三、膠州灣租借地及山東鐵道沿線其他支那國各地ニ在ル日本郵便局發支那國各地宛日本郵便物及小包郵便物ニ對シテハ日本國ノ内國郵便料金率ヲ適用シ之ニ依リ貼付シタル日本郵便手ヲ又支那國各地發前記日本郵便局宛支那郵便物及小包郵便物ニ対シテハ支那國ノ内國郵便料金率ヲ適用シ之ニ依リ貼付シタル支那郵便手ヲ日支兩國ニ於テ双互ニ有効ト認ムルコト

(附記四ノ附屬四)

丁号

取極草案及公文案修正説明書

文ニ記入スヘキ事項ノミヲ列記スルコトナシタル次第ナリ

(附記五)

大正四年十二月二十二日附在中国日置公使ヨリ石井外務大臣宛公信

山東ニ於ケル通信業務ニ関スル件

第三八九号(機密) (同年十二月二十八日受)

及引受方法等ニ関スル独逸時代ノ慣行ヲ文書ニテ明約セナリ

ムコトヲ主張シタルモ今回遂ニ之ヲ撤回シ我方希望通り概略的規定トナスニ同意セリ

二、支那側ニテハ從來我軍事郵便局及無線電信ノ撤廃ヲ強硬ニ主張セルニ拘ラス今回山東鐵道守備軍撤退迄其存置ヲ承認スルコトナレリ

三、支那側ニテハ曩ニ日本軍ノ破壊セル支那通信機関ヲ日本ニ於テ修理復旧セシムヘキコトヲ主張セルモ今回自ラ修理スヘキコトヲ承諾スルニ至レリ

四、郵便切手双互承認ノ件モ山東省支那内地間ノ関係ニ於テハ大体我希望ヲ容ルルコトナレリ

支那側ニ於テハ前記各種ノ事項ニ付讓歩的態度ヲ示セルニ拘ラス左記諸点ニ関シテハ依然其主張ヲ固執シ容易ニ応諾スヘキ模様無之候

々接近ヲ見ルニ至リ候委細ハ別紙覚書ニ就キ御承悉相成度

候今回ノ対案及會議ノ経過ニ依リ稽フルニ支那側ニ於テ前回ニ比シ著敷讓歩ヲナシタルモノト認メラレ即チ其重ナル

点左ノ通ニ有之候

一、支那側ニテハ從來郵便函ノ所在地、郵便物ノ鉄道運送

十月二十五日附政機密送第二一六号御訓令ノ趣旨ニ従ヒ九月三日附抽信機密第二七七号附屬取極草案及公文案ヲ左ノ通修正セリ

一、取極草案標題ニ「現ニ」ノ文字ヲ又其第三ニ第二項トシテ将来必要ト認ムルトキハ濟南以外ノ各地ニ於テモ電信聯絡ヲ行ヒ得ルコトノ規定ヲ設ケタリ

一、公文案(一)ノ一ハ今回ノ御訓令ニ依リ通信省ニ於テ濟南郵便局ヲ停車場構内ニ設置スルノ意向アルコトヲ承知シタルコトナセリ通信省ニ於テ愈々停車場構内ニ設置スルコトニ削除シ取極草案ノ第二ノ地名ハ商埠地ノ内外ヲ問ハス広義ノ意味ヲ有スルモノトシテ支那側ニ説明タル日本郵便手ヲ又支那國各地發前記日本郵便局宛支那郵便物及小包郵便物ニ対シテハ支那國ノ内國郵便料金率ヲ適用シ之ニ依リ貼付シタルモ取極文面ニテハ主義上我主張ヲ曲ケサル形式トナシタキ考案ナリ又公文案(一)ノ二ハ双互主義トナシ且小包郵便物ヲ附加セリ

一、公文案(一)ノ一二ハ地域ヲ明ニシ且為念修理ノ二字ヲ加へ同二ハ御訓令通り修正ヲ加へ同三ハ削除セリ

一、公文案ノ形式ハ愈々公文ニテ取極ムヘキ事項決定ノ上適宜変更ヲ加フル必要アルヘキコトヲ予想シ今回ハ暫ク公

(一)濟南商埠内ニ我郵便局ヲ開設スルノ件
(二)我軍事通信機関ニ於テ通常郵便及外國電報取扱廢止ノ件
(三)支那通信機関復旧費請求ノ件
(四)郵便切手双互適用範囲拡張ノ件
(五)小包郵便ニ対シ郵便切手双互適用ノ件

(イ) 今回ノ取極ヲ飽迄暫行的タラシメムトスルノ件
以上ノ内(一)(二)(六)ニ付テハ我方ニ於テ相当主張ノ論拠アルモ
(一)ハ到底支那側ヲシテ同意セシムル見込ナク(二)ハ理論上我

方ニ正当ナル論拠ナキ義ニ付支那側主張通同意ヲ与ヘ實際ニ於テ何等カノ変通方法ヲ講スルコトトナス方可然四ハ山

東省ヲ目的トスル今回ノ取極中ニ規定スルコト不可ナリト
ノ支那側ノ主張十分理由アリト認メラレ(五)ハ独支間ノ約定
中ニ規定ナキ關係上之又我方ニ於テ主張スヘキ論拠ナキ次第故共ニ撤回ノ外ナカルヘキカト愚考致候

本件ハ支那側ト交渉開始後已ニ數月ヲ費シ其間會議ヲ開キタルハ僅ニ三回ニ過ギサルモ毎回全部ニ亘リテ詳細ノ論議ヲ尽シ彼我主張ノ在ル所略明瞭トナリ支那側ノ讓歩的態度モ十分諒トスヘキモノ有之候ニ付大抵ノ所ニテ折合ヲ付タルコト得策ナルヘシト被存候急速御詮議ノ上何分ノ儀御訓相成候様致度此段及請訓候也

追而本月十八日權量出淵書記官來訪支那側対案内示ノ際同書記官ヨリ第八条ノ規定ヲ設ケタル理由ヲ推問シタルニ右ハ約二ヶ月前獨逸公使ヨリ公文ヲ以テ日支間ニ山東ニ於ケル通信聯絡ニ付商議中ノ趣ナルカ右ハ不都合ナリ

日本側ヨリ殊更ラ各一所ト記スル必要ナカルヘシト述ヘタルニ対シ支那側ヨリ濟南及濰縣ニハ各独逸郵便局一ヶ所アリ青島ニハ支那郵便局電信局各一ヶ所アリタルニ付特ニ限定シ置クノ必要アリト述ヘ次イテ日本側ヨリ第二条ノ原設郵便局處ナル意義ニ付説明ヲ求メタルニ右ハ必シモ從前ノ独逸郵便局倉其モノヲ指ス趣旨ニアラス鉄道用地内ナレハ何レノ地ニテモ差支ナキ意味合ナリト答ヘタリ第二条ニ関シ日本側ヨリ濟南商埠地内ニ我郵便局開設ノ件ニ付從来ノ主張ヲ繰返シ押問答シタルモ支那側ニテハ飽迄強硬ニ反対セリ

第三条

第一回会議ノ際支那側カ停車場電報室トノ聯絡ヲ主張シタル行掛アルニ付日本側ヨリ為念聯絡方法ニ付質問シタルニ支那電信局ニテハ鉄道用地境迄其電線ヲ延長シ聯絡用ニ供スヘキヲ以テ鉄道用地内ナレハ日本郵便局ニ於テ實際ノ聯絡ヲ行フコトトスルモ異存ナシト答ヘタリ次キニ日本側ヨリ列記地名中支那原草案ニハ濟南商埠トアルニ拘ハラス今回ノ対案ニハ單ニ濟南トアル理由ヲ質問シタルニ之ニ対シ支那側ヨリ右ハ別ニ特殊ノ理由アルニア

トノ意味ノ嚴重ナル抗議アリタル為外交部側ノ注意ニ依リ設ケルコトナシタル旨ヲ内話シ外交部側ニハ秘密ニ願度旨申述タル趣ニ有之候御参考迄右申添候也

(附記五ノ附屬一)

大正四年十一月二十日山東郵電問題第三回協議経過

支那側ヨリ別紙対案ヲ提出シ右ハ日本ノ提案ヲ參酌シ努メテ其希望ニ副フ様苦心ノ末作成シタル次第ナルコトヲ申述ヘ一応ノ説明ヲ為シタル上左ノ通逐條審議ヲ為セリ

標題

日本側ヨリ冒頭ニ交通部ト日本公使館トノ間ニ会訂云々ノ字句ヲ加ヘタル理由ヲ質問シタルニ支那側ヨリ右ハ格別ノ理由ナキモ今回ノ取極ハ余リ大袈裟ナラサル形式ト為シタキ趣旨ニ外ナラサル旨ヲ述ヘ次テ日本側ヨリ膠済鉄路間(第四条第五条ニハ沿綫トアリ)トハ山東鐵道沿線ト諒解シ差支ナキヤト念ヲ押シタルニ多少意味合ヲ異ニスルモ日本文ニハ山東鐵道沿線ト記スルコト異存ナント答ヘタリ

第一条及第二条

支那側ヨリ日本側ニ於テ軍事郵便局及無線電信ノ撤廃ニ付シ強硬ニ反対セラレタルニ付枉ケテ讓歩スルコトニ決シ即チ前段ノ通り規定スルコトニ折合ヒタル次第ナルモ濟南濰縣日本郵便局及青島支那電信局開始次第日本軍事通信機関ヲシテ通常郵便及外國電報ノ取扱ヲ絶対ニ廢止セシムルコト必要ニ付後段ノ規定ヲ設ケタル旨説明セリ

依テ日本側ヨリ前段ハ大体可ナリト認ムルモ後段ハ不同意ナル旨前回同様主張シ再考ヲ求メタリ支那側ニテ今回本条後段ニ外國電報取扱ノ件ヲ規定セルハ前回日本側ヨリ青島ニ於ケル外國電報取扱ニ閑スル通告取消問題ニ付キ強硬ニ反対セル為斯ル別個ノ形式ニテ其目的ヲ達セムト企テタルモノナルヘシ

第五条

日本側ヨリ日本ニ於テ現ニ支那ノ通信機関ヲ借用シ居ル事實ナシト思料スルニ付借用ノ二字削除方ヲ主張セルニ支那側之ニ同意セリ次テ日本側ヨリ修理費ニ關シ後日ノ

商議ヲ約スルコトハ日本カ今回ノ戰争ニ依リ支那官民ノ蒙リタル損害ニ対シ賠償ノ責ニ任セサル方針ヲ執リ已ニ英國ト共ニ支那政府ニ声明ンタル關係上断シテ同意スルヲ得ス且斯ル事項ハ本取極ノ目的タル通信聯絡ト無關係ニ付強テ修理費ヲ要求セラレムトスル次第ナラハ後日外交問題トシテ提議セラルコト然ルヘキ旨説得セルニ支那側ヨリ商議トハ單ニ相談ノ意味ニテ修理費弁償ヲ約スル次第ニアラサルヲ以テ支那側ノ苦衷ヲ察シ是非同意アリタキ旨懇請セルモ断然之ヲ斥ケタリ

第六条
日本側ヨリ第一回會議ノ際支那側ニ於テ双互主義ヲ主張セルニ付第二回會議ノ際其主張ヲ參酌シ新タニ双互主義ニ基キ提議セル次第ナルニ今回ノ支那側対案ヲ見ルニ日本郵便局ヨリ発送スル郵便物ニ対シテハ寸尺大小迄モ制限シナカラ支那郵便局ヨリ発送スル郵便物ニ対シテハ何等ノ制限ヲ設ケサルハ甚タ不誠実ナリト責メタルニ支那側ヨリ右ハ書キ誤リニ付支那郵便局発送ノ分ニモ同様ノ規定ヲナスヘキ旨申述ヘタリ次テ日本側ヨリ主義上ノ問題ハ右ニテ解決シタルモ寸法ノ制限ハ不必要ナルヘク尚

日本側ヨリ第三回會議ニ於テ突然斯ル新規ノ条項ヲ提出スルニ至リタル理由ヲ質問セルニ支那側ヨリ右ハ日本側ニ於テ取極案文中ヨリ悉ク暫行的意味合ノ字句削除方ヲ主張シタルニ付之ニ同意シタル代リ将来独逸側ヨリ抗議等ニ接シタル場合弁明上必要ト思料シ特ニ交通總長ノ意見ニテ附加セリト述ヘタルヲ以テ日本側ヨリ青島稅關取極ノ例ヲ援テ其不必要ヲ論弁シ且ツ山東條約第一條ノ規定アル以上独逸側ニ対シ毛頭氣兼スルニ及ハサルヘク万一抗議等ニ接シタル場合ニハ該条項ヲ指摘シテ如何様ニモ弁明ノ途アルヘシト説示シテ強硬ニ撤回方ヲ主張シ置キタリ（終）

（附記五ノ附屬二）

交通部第二次提出修正案

北京中國交通部與駐京日本公使館會訂現屬日本國管理之膠州灣租借地及膠濟鐵路間所有關於郵便及

電信事務之處理辦法

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四〇七

第一條 日本國承認中國在青島之郵政局及電報局各一所照舊開設營業
第二條 中國承認日本國在濟南及濰縣於德國原設郵便局處所開設郵便局各一所
第三條 中國允將下列之緊要各電局電線自行延長與膠濟鐵路電報接續通電但先接通一處或數處由鐵路與中國電報局協議之
濟南 周村 博山 濰縣 青州 膠州 城陽 青島
第四條 日本國允俟膠濟鐵路軍隊撤退後即將鐵路沿線之軍事郵便局及濟南軍事無纏電以及他項因軍事而設之通信機關一律廢止並允自濟南濰縣日本郵便局及青島中國電報局開始之日起從前日本國在山東所有各項軍事通信機關現尚存留者不再收發普通郵便及外國電報
第五條 日本國承諾中國在膠州灣租借地及膠濟鐵路沿線從前因戰事破壞停止及借用之各處通信機關由中國自行修理復舊此項修理費用中國允俟歐戰了結後再行與日本商議第六條 由青島濰縣濟南之日本郵便局發寄中國各地之郵件均適用日本郵票惟其資例與尺寸大小當與中國在各該處郵局所定者同等其由中國各郵局發寄青島之郵件均適用中國

郵票

第七條 除前記規定各項外所有膠州灣租借地及膠濟鐵路間關於中日兩國郵便事務交換設備及膠濟鐵路運送中國郵便以及鐵路電報聯絡收費一切事項均暫適用中國與德國從前已有之辦法

第八條 前項協定之現行辦法中日兩國允俟歐戰了結時即照民國四年中日條約關於山東省之條約第一條所規定者辦理

(右和訳文)

交通部第二次提出修正草案

北京支那國交通部ト北京日本公使館トノ間ニ会訂

セル現ニ日本國ノ管理ニ屬スル膠州灣租借地及山

東鐵道沿線ニ於ケル郵便及電信事務ニ關スル處理

弁法

第一条 日本国ハ支那國カ青島ニ於ケル郵便局及電信局各一個所ヲ從前通リ開設營業スルコトヲ承認ス

第二条 支那國ハ日本國カ濟南及濰縣ニ於ケル從來ノ独逸國郵便局所在地ニ於テ郵便局各一ヶ所ヲ開設スルコトヲ承認ス

第三条 支那國ハ左記各主要電信局ノ電線ヲ自ラ延長シ山

定ムル所ト同等タルヘク其支那國各郵便局ヨリ青島ヘ宛發送スル郵便物ニ對シテハ都テ支那國郵便切手ヲ適用スルモノトス

第七条 以上規定セル各項ノ外膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル支日兩國郵便事務交換ノ設備及山東鐵道ニ由ル支那國郵便物ノ輸送竝ニ鐵道電信聯絡料金等ノ一切ノ事項ニ關シテハ當分支那國ト獨逸國トノ間ニ從前存在セル弁法ヲ適用スヘキモノトス

第八条 前項協定ノ現行弁法ハ日支兩國ニ於テ歐洲戰爭ノ結了ヲ俟チ民國四年支日條約タル山東省ニ關スル條約第一條ノ規定ニヨリ弁理スヘキモノトス

(附記六)

参考(極秘) 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル日支交渉顛末ノ要領

太正四年十一月二十七日(在濟南林領事報告)

昨年十一月山東ノ各地我軍ノ占領ニ帰スルヤ直ニ野戰郵便局、軍用通信所及軍用無線電信所ヲ設置シ一方内地山東間ノ軍用設置ヲ利用シ之ニ依リ占領地相互通及占領地ト日本

東鐵道電線ト接続通電スルコトヲ承諾ス但シ先ツ一ヶ所ニ於テ接続セシムヘキカ又ハ數ヶ所ニ於テ接続セシムヘ

キカニ就テハ鉄道ト支那電信局トノ間ニ之ヲ協議スヘシ

濟南 周村 博山 濰縣 青州 膠州 城陽 青島

第四条 日本国ハ山東鐵道ノ軍隊撤退後直チニ鐵道沿線軍事郵便局及濟南ニ於ケル軍事無線電信及其他軍事ノ為メ設置セル通信機關ヲ一律ニ廃止スヘキコトヲ承諾シ且ツ

濟南及濰縣ノ日本郵便局及青島支那電信局開始ノ日ヨリ日本國カ從來山東ニ於テ有スル各種ノ軍事通信機關ニシテ今尚ホ存置スルモノニ於テハ引続キ通常郵便及外國電報ノ取扱ヲ為ササルコトヲ承諾ス

第五条 日本国ハ支那國カ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於テ龔ニ戰事ノ為メ破壞停止セラレ又ハ借用セラレタル各地ノ通信機關ヲ自ラ修理復旧セシムルコトヲ承諾ス其修理復旧費用ニ關シテハ歐洲戰爭ノ結了後支那國ヨリ日本國ト商議スヘシ

第六条 青島濰縣及濟南ノ日本郵便局ヨリ支那國各地ニ宛テ發送スル郵便物ニ對シテハ都テ日本國郵便切手ヲ適用スルモ其料金及寸尺大小ハ支那國當該地方郵便局ニ於テ本年一、二月ノ交田中通信局長支那各地巡歷ノ際山東各地殊ニ青島濟南濰縣ノ繁榮策トシテ大体元獨治時代ノ實況ヲ基盤トシ軍事上必要ナル行動ハ之ヲ別問題トシ特ニ一般郵便電信ノ取扱ニ關シ日支間ニ商議ノ必要ヲ認メ通信局長ハ一方獨支間ノ通信ニ關スル協約類ヲ入手シ支那ト協商ヲ要スル事項ノ大綱ト其ノ必要ナル所以トヲ遞信大臣ニ稟申シ他方在青島我陸軍官憲在北京日置公使及在北京支那交通部周郵伝司長ト山東ニ於ケル通信業務ニ關シ日支間ニ協定ヲ要スヘキ重ナル事項ニ付下協議ヲ遂ク之ヲ本件交渉ノ濫觴トス

本年二月遞信省ハ通信局長ノ意見ヲ基盤トシ陸軍省トモ協議ヲ遂ケ本件ニ關シ至急在北京日置公使ニ訓令シテ支那政府ト交渉開始芳外務省ヘ照会シタルニ時恰モ広汎重要ナル

問題ニ關シ日支間ニ交渉中ナリシカハ一時本件交渉ノ開始ヲ見合セ五月二十五日山東滿蒙等ニ関スル日支条約ノ調印ヲ待チ七月ニ至リ遙信外務陸軍三省打合セノ上通信局長ヨリ周郵伝司長ニ対シ左記各項ヲ基礎トシテ山東ニ於ケル通信業務ニ關スル日支交渉ヲ開始シ支那側ヨリ相當成案ノ上我日置公使ニ提議方照会セリ

(1) 独逸カ膠州灣租借地及山東鉄道沿線各地ニ於テ有セシ郵便電信ニ關スル権利及特權ハ全部帝國ニ於テ之ヲ繼承スルコトヲ基礎トシテ協定ヲ為スコト

(五月二十五日調印山東省ニ關スル日支條約第一条参照)

(2) 独支ノ關係ニ倣ヒ青島濟南濰縣ニ我普通郵便局ヲ設置シ在同地ノ支那郵便局ト相互ニ郵便物ヲ交換スルコト(之

ヲ郵便交換局ト称ス)

(3) 右ニ依リ交換スル郵便物ニ付

(1) 在山東日本郵便局發支那宛ノ郵便物ニ我内國郵便料ニ依リ日本切手ヲ貼付シタルモノハ支那側ニ於テ之ヲ有効ト見ルコト

(4) 同時ニ支那發在山東日本郵便局宛ノ郵便物ニ在支日本郵便局ノ採用スル郵便料ニ依リ支那切手ヲ貼付シタル

(5) 日本ハ軍事其ノ他ノ事情ノ許ス限り我軍ノ占有破壊切断シタル支那電信線ヲ支那自ラ修理復旧スルコトヲ承認スルコト
 (6) 日本ハ軍事其ノ他ノ事情ノ許ス限り我軍ノ占有破壊切断シタル支那電信線ヲ支那自ラ修理復旧スルコトヲ承認スルコト
 (7) 本件公式商議ノ発端トス
 而テ外務省ハ日置公使ニ対シ支那側ヨリ右各項ニ付交渉シ来リタルトキハ直ニ之ニ応シテ商議ヲ進捗セシムヘキ旨訓令セリ尚在山東我陸軍官憲ハ前記(1)及(4)ニ關シ濟南ニ設置之ヲ本件公式商議ノ発端トス

ノ意見一致セル点及一致セサル点ノ主ナルモノ左ノ數項ニ帰着スルコトナレリ

(A) 前記(1)ハ双方一致

(B) 前記(1)(但シ青島ヲ除ク)ニ關シ支那ハ我郵便局ヲ停車場構内ニ設置スヘント云ヒ日本ハ獨支郵便約定上斯ル制限ナキヲ以テ商埠地外タレハ足レリト主張ス而シテ濟南ノ我郵便局新築予定地ハ地圖上商埠地内ナルモ現ニ山東鉄道附屬地ニシテ支那商埠局ニ買收セラレタルコトナキカ故ニ商埠地外ナリト主張ス、支那之ニ同意セス

(C) 前記(3)ニ付支那ハ

(1) ニ同意

(1) ハ支那ノ郵便料ニ依ルコトヲ主張ス仍テ日本ハ獨支、香港支那、仏支、郵便約定ニ倣ヒ支那ノ郵便料ニ依ルコトヲ承諾スルト同時ニ独リ山東ニ止マラス前記(1)ノ除外スルコトセリ斯テ本年九月一日ヨリ北京日本公使館ニ於テ日支兩國委員ノ商議ヲ開始シ爾來前後數次ノ會談ニ依リ前記(1)乃至(4)ノ事項ニ關スル支那ノ種々ナル提案ニ對

シ當方ハ遙信外務陸軍三省協議ノ上其ノ都度在支公使ニ訓令シ支那ノ不當ナル主張ハ之ヲ反駁スルト同時ニ其ノ至当ナル論旨ニハ當方亦和衷ノ精神ヲ以テ應酬シ結局今日彼我

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 附 四〇七

モノハ日本側ニ於テ之ヲ有効ト見ルコト(日支郵便約定第七条参照)
 (四) 濟南ニ設置スヘキ我普通郵便局ニ山東鉄道電信線ヲ引込ミ支那ハ同局迄支那電信線ヲ延長シ差向キ濟南ニ於テ獨支間ノ例ニ倣ヒ山東鉄道沿線各地ト支那其ノ他ノ外國トノ間ニ公衆電報ノ交換即日支連絡通信ヲ行フコト(参考、独逸時代ニハ山東省内ノ他ノ七ヶ所ニ於テ獨支連絡通信ヲ行ヘルヲ以テ此所ニハ最モ必要ナル濟南ニ於テ先ソ日支連絡通信ヲ行ハントノ意味ヲ表ハス為特ニ差向キト云ヘリ)
 (5) 独支間ノ例ニ倣ヒ青島ニ支那郵便局及支那電信局ノ業務開始ヲ承認スルコト
 (6) 日本ハ軍事其ノ他ノ事情ノ許ス限り我軍ノ占有破壊切断シタル支那電信線ヲ支那自ラ修理復旧スルコトヲ承認スルコト
 (7) 日本ハ軍事其ノ他ノ事情ノ許ス限り我軍ノ占有破壊切断シタル支那電信線ヲ支那自ラ修理復旧スルコトヲ承認スルコト
 (8) 前記(1)ハ双方一致
 (9) 前記(1)(但シ青島ヲ除ク)ニ關シ支那ハ我郵便局ヲ停車場構内ニ設置スヘント云ヒ日本ハ獨支郵便約定上斯ル制限ナキヲ以テ商埠地外タレハ足レリト主張ス而シテ濟南ノ我郵便局新築予定地ハ地圖上商埠地内ナルモ現ニ山東鉄道附屬地ニシテ支那商埠局ニ買收セラレタルコトナキカ故ニ商埠地外ナリト主張ス、支那之ニ同意セス
 (10) 前記(3)ニ付支那ハ
 (11) ニ同意
 (12) ハ支那ノ郵便料ニ依ルコトヲ主張ス仍テ日本ハ獨支、香港支那、仏支、郵便約定ニ倣ヒ支那ノ郵便料ニ依ルコトヲ承諾スルト同時ニ独リ山東ニ止マラス前記(1)ノ除外スルコトセリ斯テ本年九月一日ヨリ北京日本公使館ニ於テ日支兩國委員ノ商議ヲ開始シ爾來前後數次ノ會談ニ依リ前記(1)乃至(4)ノ事項ニ關スル支那ノ種々ナル提案ニ對

五二五

然ルニ支那ハ独支、香支、仏支郵便約定ニ小包郵便物ニ
関スル相互主義ヲ認メサルコトヲ楯トシ小包郵便物ノ相
互主義ニハ絶対不同意、通常郵便物ニ付テモ日本ノ拡張
相互承認案ニ未タ全然同意スルニ至ラス

(D)前記四ニ関シ支那ハ独支電信約定ニ停車場ニ於テ連絡通
信ヲ行フト云フ規定アルコトヲ理由トシ前記(3)ニ依リ停

車場外ニ設置セントスル我郵便局ニ於テ連絡通信ヲ行フ
コトヲ承諾セス(独支電信約定第一案参照)仍テ日本ハ

右約定ノ精神ハ重要ナル停車場所在地ニ於テ連絡通信ヲ
行フニアルヘク又前記(3)ノ我郵便局新築予定地ハ山東鉄

道所有地内ナレハ停車場構内ト云フモ不可ナシト弁駁シ
タルモ支那遂ニ之ニ同意セス

尤モ濟南ノ外将来必要ニ応シ他ノ七ヶ所ニ於テ連絡通信
ヲ行フヘキコトハ双方ノ意見略一致セリ

(E)前記(4)ハ勿論支那ニ於テ同意ナリ(4)モ略同意セントスル
形勢ナリ

(F)今回ノ取極ヲ税関取極ノ例ニ依リ現ニ日本軍ノ管理ニ属
右日本經由青島發支那行電報ヲ途中ニテ停止セリ仍テ日
本ハ

(1)右日本經由青島發着外國電報事務ノ取扱ヲ開始シタル
ハ目下青島カ他ニ外國ト電報往復ノ途ナキ故絶対ニ必
要ナルコト
(2)青島ニ支那電信局未タ存在セサルヲ以テ支那トノ電信
上ノ競争起ラサルコト
(3)軍事行動トシテ内地青島間ニ必要ナル軍用設備ヲ設ケ
公衆電報ヲ取扱フハ日本ノ自由ナルコト
(4)独逸ハ青島上海間及青島芝罘間ニ海底線ヲ有シ此ノ二
線ハ外國電報ノ主要線路タリシニ目下右二線トモ不通
オルヲ以テ日本ハ之ニ代ルヘキ内地青島間ノ軍用設備
ヲ利用シ外國電報ヲ取扱フハ當然ナルコト
(5)山東鉄道電信線ト支那電信線トノ連絡開始セハ右連絡
線ニ依ル外國電報ノ料金ハ日本經由ノ外國電報料金ヨ
リ低廉ナルカ故ニ日本經由ノ通信ハ自然消滅トナルヘ
ク從テ特ニ日本經由線路ノ廢止ヲ宣言スルノ必要ナキ

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四〇七

極タラシメントスル日本ノ提案ニ対シ支那ハ未タ正式ニ
反対セス只暫行的協定トスル希望ヲ述ヘタルノミ

(G)支那ハ我軍事郵便局軍用通信所及軍用無線電信局ヲ撤廃

ヲ要求シタルモ日本ハ軍用通信所ノ一部ヲ除キ他ハ之ヲ

拒絶シ支那ハ遂ニ後日軍隊ノ撤去ト同時ニ右局所ノ撤廃

ヲ要求シ来レリ尚支那ハ我野郵便局ニ於ケル公衆郵便
事務ノ全廃ヲ荐リニ主張シ之ニ對シ日本ハ濟南灘埠ニ於

テハ同地普通郵便局ノ開設ト共ニ右二地我野戰郵便局ノ
公衆郵便事務ヲ廢止スヘキモ他ノ各地ニ閑シテハ山東ニ
於ケル邦人ト元独逸人ノ數ニハ雲泥ノ差違アレハ自ラ事

情ヲ異ニスト説明セルモ支那ニ之ニ応セス

(H)先之青島ハ支那各地トノ電信連絡断絶シ支那電信線ヲ經
由シテ外國ト電報交換ノ途ナキニ至リタル事實ニ鑑ミ日

本ハ止ムヲ得サル臨時ノ施設トシテ去七月五日ヨリ内地
青島間軍用設備ニ依リ日本經由青島發着外國電報ヲ取扱

ヲ開始シ之ヲ各國ニ通牒シタルニ支那ハ右外國電報ノ開始
ヲ以テ独支間從來ノ弁法ニ違反スルノミナラス日支電

信條約ニ日本ハ支那ノ同意ナクシテ支那ニ海底線ヲ陸揚
セス又支那ノ電信利益ト競争セサルコトヲ約シタルヲ引

証シ(日支間海底線陸揚権約定第三条及日支電信條約第
一条参照)切ニ之カ廃止ヲ要求シ殊ニ最近ニ至リ支那ハ

右日本經由青島發支那行電報ヲ途中ニテ停止セリ仍テ日
本ハ

コト

(I)若シ絶対廃止ヲ宣言スルトキハ山東鐵道電信線ト支那
電信線トノ連絡実行後ト雖同線ノ不通トナルトキハ直

ニ日本經由線ノ必要起ルヘキコト

(J)尤モ以上ノ理由ハ次ノ(1)ノ佐世保青島線ノ存在ヲ支
那ニ通知セサル關係上全部直ニ支那側ニ説明セサル様
在支公使ニ訓令ジアリ)

(K)尙本件ニ關シ目下日支間ニ交渉中ナルニ不拘支那カ右

日本經由青島發支那行電報ヲ途中ニテ妄ニ停止スルハ
極メテ不穏當ナレハ速ニ反省スヘント駁シタルニ支那

ハ是非日本經由線ノ廃止ヲ明瞭ニ宣言スヘキコト及同
線經由支那宛電報ハ今後モ停止スヘキコトヲ宣告シ在上海大北会社ヨリモ今後右電報ハ支那側ニテ停止サル

ヘキヲ以テ同社線上ニ送信セサル様要求シ來レリ

(L)在支公使ハ我ヨリ進テ佐世保青島線ノ存在ヲ支那側ニ打
明ケ可然トノ意見ナリシモ當方ニテハ徒ニ支那側ノ反感
ヲ買ヒ反テ問題ノ紛糾ヲ來ス虞アリト認メ支那側ニ打明
ケサル様公使ニ訓令セリ支那側ニテハ本線ノ存在ヲ知テ
サルモノノ如シ而シテ本線ハ全然独逸ノ有セシ権利以上

五二七

ノモノナルヲ以テ現下ノ戦役終了ノ暁ニ於テハ存在ノ理由ヲ失フヘキヲ以テ青島還附条件ノ一トシテ後日支那ヲシテ承認セシムル様外務省ニ照会ンアリ

(J)此ニ述ヘタル元独逸ノ有セシ青島上海線及青島芝罘線ハ当然帝国ノ繼承スヘキ権利ナレハ将来必要ニ依リ日本自ラ隨時回復使用スヘキコトヲ支那側ニ宣言シタルニ支那側ニテハ今回ノ取極ハ山東省ニ於ケル郵便電信ノ連絡ニ関スル暫行的取極ナルヲ以テ右ノ問題ハ他日ノ協定ニ譲リ度シト主張ス

(K)本件協定ノ実行ハ主義トシテ從来獨支間ニ行ハレタル弁法ニ準拠スヘキコト双方一致セリ然レトモ最近我青島守備軍ニテ發見セル獨支電信協約写ニ依レハ先年東京ニ於テ日支電信問題交渉ノ際支那委員ヨリ送付シ來レル獨支電信協約写ニハ支那ニ不利益ナル二点ヲ特ニ除外シアリ即

(I)支那ハ芝罘及北京ノ獨逸郵便局ト同地支那電信局トノ間ニ電信線ヲ建設シ且上海青島芝罘間獨逸海底線ト芝罘太沽北京間支那陸線トヲ接続シテ毎日四回以上獨逸官報ノ伝送ニ専用セシムルコトヲ獨逸ニ約セリ

ノ強硬ナル抗議アルト一方濟南新停車場ノ位置モ既ニ確定シ建築中ナルヲ以テ該駅ト郵便物受渡ノ便宜ヲ考慮シ曩ノ野戰郵便局新築予定地ヲ変更セントスルノ議アリ(別紙図面参照)右変更スヘキ地点ハ駅ト連続セル地域内ニシテ且商埠地外ナレハ支那側ノ同意ヲ得ルコト容易ナリ
要スルニ支那ハ獨支間ノ關係中支那ノ権利ニ属シタルモノハ完全ニ之ヲ恢復シ獨逸ノ権利ニ属セサルモノハ勿論獨逸ノ権利ニ属シタルモノト雖出来得ル限り之ヲ消滅セシメントシ之ニ反シ日本ハ元独逸ノ有セシ権利ハ完全ニ之ヲ取得スルノ外出来得ル限り自然ノ必要ト帝國ノ利益ノ為一步ニテモ元独逸ノ有セシ以上ノ権利ヲ得從テ夫レ丈支那ノ利益ヲ奪ハントスルカ為遂ニ容易ニ兩者意見ノ一致ヲ見ルニ至ラサル所以ナリ

参考照

大正四年五月二十五日

日支間調印山東省ニ関スル條約

獨支郵便約定

獨支電信協約

山東鉄道電信系ト支那電信系トノ連絡ニ関スル獨支電信

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 四〇八

(H)支那ハ日本ニ對シ将来支那カ外國会社ニ利益ヲ与ヘタ

ル場合ハ日本ニモ之ニ均霑セシムヘキコトヲ約シタルモ外國政府ニ利益ヲ与ヘタルトキハ日本ニ均霑セシム

ルコトヲ約セサルニ不拘獨逸ニ對シテハ支那カ外國政府。又ハ外國会社ニ利益ヲ与ヘタル場合ニハ何レモ獨逸

ヲシテ之ニ均霑セシムヘキコトヲ約シアリ

而シテ支那ハ本件山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉ニ於テ獨支間從來ノ弁法ヲ此ノ際同時ニ文書ヲ以テ取極メ

タシト主張スルモ日本ハ從來ノ弁法ヲ全部知悉セルモノニ非サルヲ以テ今日細項ニ亘リ文書ヲ以テ協定スルコトハ極メテ危險ナリ況ニヤ右ニ述ヘタルカ如ク從來支那側ニ於テ自己ニ不利益ナル獨支間ノ約束ヲ日本ニ秘シアル

カ如キ事實アルニ於テオヤ右ノ次第ナルヲ以テ日本ハ此ノ際細項ノ協定ヲ避ケ先ツ從來獨支間ニ存シタル郵便電信ニ關スル協約約定其ノ他ノ弁法類ハ總テ支那側ヨリ公文ヲ以テ提出セシムル様提議シタルモ支那側未タ之ヲ応

諾セス
以上支那ノ主張ニ對シテハ之ヨリ更ニ審議ノ上回答スヘキ旨ナルモ前記(B)及(D)ニ於テ我濟南郵便局ノ位置ニ關シ支那答約定
日支郵便約定
日支電信協約日支間海底線陸揚權約定
日支間電信問題ニ關スル日本、大北会社間約定香支郵便約定
仏支郵便約定濟南郵便局位置ニ關スル地図
山東郵便電信圖四〇八 六月二十二日 在中國日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)山東ニ於ケル通信業務ニ關スル第四回會議ニ
於テ中國側修正案ニ付討議ノ件

第五九五号

政機密第七九号貴信ニ關シ談判ノ進捗ヲ計ルタメ出済ヲシテ我主張ノ要旨ヲ内々篤ト權量ニ申含メ交通部ノ議ヲ纏メシメタル上昨二十一日當館ニ於テ第四回會議(高尾ノ代り船津列席)ヲ開キ機密第三八九号添付支那側修正案ニ付討議シタル結果左ノ通

標題冒頭ノ字句修正ハ支那側同意尚日本側ヨリ御訓令第八ノ趣旨ニ一致セシムルタメ郵便及電信ヲ通信ト改ムルコトヲ提議シタルニ之亦同意セリ第一条第二条ヲ同様ナランメ且第二条ヨリ原設云々ノ字句ヲ削除セシムルタメ我從来ノ主張ヲ繰返シ最モ強硬ニ論弁セルニ遂ニ同意ヲ表スルニ至リタルモ結局別ニ公文ヲ以テ我方ヨリ商埠地外ノ鉄道用地内ニ設置スヘキ約束丈ニテモ取付ケタキ意嚮ヲ洩セリ第三条ニ關シ公文ニテ確定ノ義ハ支那側ニテ同意セルモ郵便局ヲ云々タル事ハ見合セ單ニ支那側ヨリ鉄道用地界迄其電信線ヲ延長スヘキコトヲ約シ用地内ニテ如何様ニ聯絡スルトモ日本側ノ自由タル事ニ致シ置キタント述ヘタリ第四条ニ關シ日本側ヨリ今回取極メノ目的ハ電信聯絡ヲ目的トスルモノナルニ顧ミ軍事行動ニ関スル事項ハ原則トシテ之ヲ切リ放ス事然ルヘキ旨ヲ切言セルニ支那側ニ於テ熱心ニ反駁シタルモ結局今一應考慮スヘキ意嚮ヲ洩セリ後段ニ対スル我主張ニ關シテハ強硬ニ反対シ殊ニ青島ニ於ケル外國電報取扱停止方ニ付確約ヲナスノ必要アルコトヲ熱心ニ陳弁セリ日本側ヨリ御訓令ノ趣旨ニ基キ反覆我主張ノ貫徹ニ努メタルモ乍遺憾目的ヲ達スルニ至ラス尚青島發日本經由支那

支那側渋々同意最後ニ海底電信繼承ノ件ニ關シ日本側ヨリ篤ト談判ヲ遂ケタルニ支那側ヨリ右ハ山東條約第一条ニ依リ当然ノコトナルニ付特ニ今回ノ取極メニ規定スル必要ナカルヘシトテ反対セルニ付日本側ヨリ当初田中局長ヨリ周司長ニ送リタル提案第一項及第二回會議ニ於ケル論議ヲ指摘シ今回ノ取極メト離ルベカラザル關係ヲ御訓令ノ趣旨ヲ參酌シ説明セルモ到底同意スル模様ナシ

註 前掲四〇七文書ノ附記五

四〇九 六月二十二日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛

山東通信問題ニ關シ我方ノ修正案ニ依ル早期

妥結ヲ得策ト認ムル旨稟申及請訓ノ件

別 電 同日付在中国日置公使發石井外務大臣宛電報
第五九七号

第五九六号

山東通信聯絡問題ニ關スル第四回會議ノ要領ハ往電第五九五号ノ通ナル処支那側ハ今回更ニ著シク讓歩シ即チ前回提出セル草案中標題第一条第二条第三条第五条第七条第八条

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 四〇九

内地宛電信停止ノ件ニ付テハ交通部書面ヲ突付ケ嚴重注意ヲ喚起シタル所右ハ日本ノ自由行動ニ對スル已ムヲ得ザル措置ナリトテ容易ニ首肯スル模様ナシ第五条後段削除ノ件ニ關シテハ支那側ヨリ一応ノ反対アリタルモ結局同意セリ第六条ニ關シ支那側ハ小包郵便物ヲ入ルル事ハ絶対ニ不同意ナルノミナラス切手ノ効力ヲ支那全土ニ及ホス事ニモ強硬ニ反対シ今回ノ取極メガ山東ヲ目的トスルモノナルコト日支郵便約定第六条ニ反対ノ規定アルコトヲ楯ニ取り双方ニ於テ切手ニ關シ特ニ一般的規定ヲ設ケントスルハ甚タ理由ナキ次第ナリ支那側ニテ隨分多クノ讓歩ヲナシタルニ拘ハラズ日本側ヨリ尚ホスカル不条理ナル主張ヲ繰返ヘサルルハ心外千万ナリトテ頗ル不満ノ意ヲ漏ラシタルヲ以テイハレ日本側ヨリ御訓令ノ趣旨ニ從ヒ極力陳弁セルモ山東ニ限り相互的トナス外到底吾カ主張ヲ容ルル意嚮ナシ第七条ニ關シ支那側ハ我カ修正案ニ同意シタルモ公文ヲ以テ独支間ノ協定弁法全部ヲ開示スルコトハ独逸ニ對スル關係上承認シ難キモ今回ノ日支取極運用上必要ナル部分ハ何等カノ形式ニテ開示スルコト異存ナシト明言セリ之ニ對シ日本側ヨリ飽迄全部公文ニテ開示方ヲ求メタルモ同意セス第八条ノ件

ニ對シ悉ク我主張ヲ容レ（但シ第一条及第七条附帶公文ノ件ハ未定）唯第四条第六条及海底電線繼承ノ件ニ反対ヲ固執シ居ルニ過ギズ然ルニ（一）第四条日本軍隊撤退次第軍事通信機関ヲ撤廃スルコト及軍事通信機関ニ於テ普通通信ヲ取扱ハザルコトニ關スル支那側ノ主張ハ公平ナル見地ヨリジテ寧ロ至当ト認メラレ（二）第六条郵便切手ノ相互適用区域ヲ山東ニ限局セントスル支那側主張ハ是又充分理由アルノミナラス客年七月政機密第一一一号貴信御訓令中ニモ今俄力ニ支那全体ニ關スル提議ヲ為ストキハ山東ニ關スル相互协定ヲ不成立ナラシムル虞アルニ依リ今回ハ山東ニ關シテノミ交渉シ可然旨記載セラレアルニ顧ミ帝国政府当初ノ目的ハ今回完全ニ達セラレタル義ニ有之（三）海底電線繼承ノ件ハ仮令今回之ヲ約束セズトモ山東條約第三条ニ依リ将来繼承シ得ルコト殆ント疑ヒノ余地ナカルヘキニ付右三点ニ關シ再応御詮議ヲ請フ將又今回ノ會議ニ於テ支那側ノ為シタル答弁ハ交通部ヲ代表シタルモノニハアラザルモ權量ガ予メ我主張ニ基キ部内ノ議ヲ纏メ來リタル成行ニ照シ大体変更ヲ見ルカ如キコトナカルヘシト思料セラルニ付會議ノ経過ニ鑑ミ此際我方ヨリ別電第五九七号修正案ヲ提出シ合意

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 四〇九

五三一

成立ノ簡条ニ付テハ直チニ両委員間ニ於テ上司ノ承認ヲ条件トシテ確認ノ手続ヲ為シ置ク方得策ナルヘシト思料ス御詮議ノ上至急御電訓ヲ請フ尚權量ハ今回ノ會議終了ノ際支那ノ時局ニ言及シ曹總長及自分ノ地位ハ何時変動スルヤモ計リ難ク仮ニ自分ハ交通次長トシテ止マルコトナルモ縦長次第ニテハ上下ノ圧迫ニ余義ナクセラレ是迄角苦心ノ

末部内ノ議ヲ取經メ日本側ニ約束シタル事柄モ遂ニハ之ヲ取消サザルベカラザル羽目ニ陥ルヤモ計リ難キニ付日本政府ニ於テ速カニ取極ノ成立ヲ希望セラルニ於テハ此ノ潮時ヲ逸セラレザランコトヲ希望スル旨特ニ懇談シタル趣ナリ

（別電）

六月二十二日在中國日置公使發石井外務大臣宛電報第五九七号
我方ノ修正案
第五九七号
（取極案）
現ニ日本國ノ管理ニ屬スル膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル電信事務ニ閑スル取極

第一条 日本国ハ支那國カ青島ニ於テ一ノ郵便局及電信局

閑スル一切ノ事項ニ付テハ從前支那國ト独逸國トノ間ニ取極メタル弁法ヲ準用スルモノトス
(公文取極案)

一、日本國ハ先ツ濟南ニ於テ第三条ニ規定セル電信線ノ聯絡ヲ實行シタキ希望ナルニ付支那國ハ在同地支那國電信局ヨリ山東鐵道用地境界迄自カラ其ノ電信線ヲ延長シ聯絡ニ便ナラシムルコト

二、独逸國ノ所有ニ屬スル芝罘青島間、青島上海間ノ海底電線ニ閑シテハ今回ノ取極中何等規定スル所ナキモ右ハ

当然山東省ニ閑スル條約第一条ニ由リ律スヘキモノトス

四一〇 八月七日 石井外務大臣(ヨリ中国小幡臨時代理公使宛)（電報）
山東通信問題ニ閑シ取極案及公文案ニ必要ノ

修正ヲ加ヘタル上交渉方回訓ノ件

第三〇二号

其後段々ノ御尽力ニヨリ山東通信問題ノ件ニ付漸次彼我ノ主張接近ヲ見ルニ至リタルハ欣幸ニ堪ヘズ當方ニ於テモ貴電第五九六号御申越ノ次第モアリ差支ナキ限り讓歩シ成ルヘク速カニ取極ヲ了シタキ考ニテ先般來關係各省間ニ篤ト

（支那側修正案第三条列記地名）

第四条 日本国ハ濟南及濰縣ニ於テ郵便局開設ノ日ヨリ右兩地ニ在ル軍事郵便局ニ於テ通常郵便物ノ取扱ヲ廢止スルコトヲ承諾ス

第五条 日本国ハ支那國カ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル支那國ノ通信機関ヲ自カラ修理シ之レヲ復旧セシムルコトヲ承諾ス

第六条 支那國ハ膠州灣租借地及山東鐵道沿線其ノ他支那各地ニ在ル日本國郵便局發支那國各地宛日本郵便物ニ對シ日本國ノ内國郵便料金率ニ従ヒ添付シタル日本郵便切手ヲ有効ト認メ又日本國ハ支那國各地發青島宛支那郵便物ニ対シ支那國ノ内國郵便料金率ニ従ヒ添付シタル支那郵便切手ヲ有効ト認ムルモノトス

第七条 膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル通信事務ニ

（支那側修正案第三条列記地名）

第二条 支那國ハ日本國カ濟南及濰縣ニ於テ一ノ郵便局ヲ開設スルコトヲ承認ス

第三条 支那國ハ左記各地ニ於テ支那國電信局ヨリ電信線ヲ延長シ山東鐵道電信線ト聯絡セシムルコトヲ承諾ス

（支那側修正案第三条列記地名）

第四条 日本国ハ濟南及濰縣ニ於テ郵便局開設ノ日ヨリ右兩地ニ在ル軍事郵便局ニ於テ通常郵便物ノ取扱ヲ廢止スルコトヲ承諾ス

第五条 日本国ハ支那國カ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル支那國ノ通信機関ヲ自カラ修理シ之レヲ復旧セシムルコトヲ承諾ス

第六条 支那國ハ膠州灣租借地及山東鐵道沿線其ノ他支那各地ニ在ル日本國郵便局發支那國各地宛日本郵便物ニ對シ日本國ノ内國郵便料金率ニ従ヒ添付シタル日本郵便切手ヲ有効ト認メ又日本國ハ支那國各地發青島宛支那郵便物ニ対シ支那國ノ内國郵便料金率ニ従ヒ添付シタル支那郵便切手ヲ有効ト認ムルモノトス

第七条 膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケル通信事務ニ

協議ヲ重ねタルモ何分支那側ノ意見ニ対シ直チニ全部同意シ兼ヌル事情モアリ結局大体左記ノ要領ニヨリ今一応交渉ヲ重ヌルコトニ致シタキニ付右ニ基キ貴電第五九七号取極案竝公文案ニ必要ナル修補ヲ加ヘラレ交渉方可然取計アリタク而シテ合意成立ノ個条ニ付テハ帝國政府ノ承認ヲ条件トシテ確認ノ手續ヲ執ラレ差支ナシ尚左記以外ノ事項ニ付テハ貴電第五九七号所載ノ貴案通リニテ差支無之ニ付右様御承知アリタシ
(一)郵便局ノ位置ニ付公文ヲ以テ約束ヲ取付ケタントノ支那側ノ希望ハ之ヲ他ノ事項トノ懸引ニ利用スルコトシ承諾シ差支ナキモ商埠地ノ内外ヲ云為スルハ我方從來ノ主張ニ鑑ミ面白カラサルニ付公文ニハ「商埠地外ノ鐵道用地内」ト記載スルコトナク單ニ「鐵道用地内」ト記載スルニ止メ若シ支那側ニ於テ何等カノ懸念ヲ抱クニ於テハ野戰郵便局ノ現所在地ニ之ヲ設置スヘキ旨ヲ説明アリタシ
(二)無線電信竝ニ軍事郵便局ノ撤退同局ニ於ケル公衆郵便事務取扱廃止ニ閑シテハ曩ニ申進タル理由ニヨリ竝下記四及五ノ点御参照ノ上支那側ノ要求ヲ撤回セシムル様再応御尽力アリタシ

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ閑スル交渉一件 四一〇

五三三

(三)日本經由青島發着外國電報ハ屢々申進タル通りノ理由ニヨリ到底廃止スルコト能ハサルヲ以テ從来ノ主張ヲ繰返シ支那側ノ再考ヲ促サレタク而カモ応セサルニ於テハ海底線ノ繼承問題等ニ對スル懸引ニ利用スルコトトシ「将来我ニ於テ上海青島芝罘線ヲ復旧運用スルヲ要スルハシ」トノ讓歩ヲナスモ差支ナシ但シ此場合ニハ現ニ支那力行ヒツツアル本項ノ電報停止ヲ直チニ解除スルヲ要スルハ勿論ナリ

四郵便切手ノ件ハ止ムヲ得サレハ支那側ノ主張通り山東省限リノ相互主張トスルコトニ讓歩シ支那全國並小包ニ関スル問題ハ他日ノ協議ニ讓ルコトトスヘキモ支那側ニ於テ此ノ如ク今回ノ取極ノ取扱ノ目的ヲ限定シ右目的以外ノ問題ニ付テハ我要求ハ理由ナシト云フニ於テハ右支那側ノ主張ヲ容ルル代リニ我ニ於テモ同様ノ理由ヲ以テ軍事電信機関撤廃問題ヲ撤回セシメ可然ト存スルニ付右様御取計アリタシ尚山東省ニ局限スル以上ハ芝罘ヲモ包含セシムル考ニ付取極案第六条冒頭ヲ「支那國ハ山東省ニ在ル日本國郵便局云々」ト訂正シタシ

五獨支間ノ弁法開示方ニ付テハ支那側ノ事情ヲ斟酌シテ一

テ応諾セシムル様御配慮アリタシ

尚本件ニ關スル遞信省來信寫御参考迄ニ郵送ス

四一 八月七日 石井外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛

山東通信問題ニ關シ取極案及公文案修正ノ趣意説明ノ件

公信機密送第一四二号

往電第三〇二号末段ヲ以テ申進タル通り本件ニ關スル遞信省來信寫御参考迄ニ別紙写ノ通リ及御送付候間御査閲相成度候尚往電第三〇二号ハ大体右遞信省來信ニ基キ起草シタルモノニ有之候へ共兩者ノ間多少ノ增減差異有之候間為念左ニ説明致候

一、遞信省來信(三)(四)ニ於テ已ムヲ得サレハ山東省ニ限ル郵便切手相互承認主義ニ同意スヘキ旨記載シアル処右山東省トハ啻ニ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ止マラス芝罘ヲモ包含セシムルノ意ニシテ從テ貴電五九七号御稟申ノ取極案第六条冒頭ヲ「支那國ハ山東省ニ在ル日本郵便局發支那國各地宛云々」ト訂正スルノ必要ヲ生シタル義ニ付右様御承知相成度右ハ第二次支那案第六条ニモ

歩ヲ譲リ山東省ニ關スル弁法ノミニ止ムルコトト致スヘキニ付山東省ニ關スル以上ハ是非共全部公文ヲ以テ開示セシムル様致シタン將又右讓歩ハ郵便切手ノ件ト同様支那側カム今回ノ取極ヲ山東省ニ關スル事項ニ局限セントノ意図ヲ重シタルニヨル義ナルニ付支那側ニ於テモ軍事電信機関ノ問題等今回ノ取極ノ目的ニ直接關係ナキ事項ニ關シテハ其主張ヲ撤回スル様取計ハレタシ尚取極案第七条ニヨリ準用スヘキ弁法ハ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケルモノナルモ開示ヲ要求スヘキ弁法ハ之ニ止マラス廣ク山東省ニ關スル獨支弁法例令ハ芝罘北京間獨逸官報取扱弁法ノ如キモノヲモ包含セシムル考ニ付右様御含ミアリタシ尚取極案第七条ニハ「支那國ト獨逸國トノ間ニ取極メタル弁法トアルモ山東鐵道公社ノ如キモノカ支那側ト取極メタル弁法ヲモ包含セシムル為「獨逸國」ヲ「獨逸政府又ハ公社」ト改ムルコトト致シタシ

(六)海底線繼承ノ件ハ曩ニ申進タル通り青島ノ對外電信聯絡ノ必要上何時之カ復旧ヲ必要トスルヤモ計ラレサルモ計ラレサルノミナラス一方歐洲戰爭終了ノ見込ミモ立タサル現状ニ顧ミ此際是非共取極メ置クノ要アルニ付今一應交渉ノ上支那側ヲシコトト致シタシ

「青島濰縣及濟南ノ日本郵便局ヨリ支那國各地ニ宛テ發送スル郵便物云々」トアリ芝罘ヲ包含セシムルコトハ支那側ニ於テ異論アルヤモ計ラレサルモ我方ノ意囑ハ廣ク山東省全体ヲ包含セシメタキ義ナルニ付為念申進ス二、遞信省來信(四)ハ五月六日付政機密送第七九号左記第八ト同様管ニ山東省ノミニ止マラス支那全國ニ關スル通信事業ニ關スル獨支間ノ協約約束額ハ一切公文ヲ以テ開示セシムヘキ趣旨ナルモ右ハ獨逸側トノ關係上支那側ニ於テ困難トスル事情アルト今回ノ取極ヲ山東省ニ關スル事項ニ局限セントノ支那側ノ意囑トヲ斟酌シ特ニ山東省ニ關スルモノノミヲ要求スル事ニ改メ其旨往電第三〇二号ヲ以テ申進タル次第ナリ而シテ此点ニ關シ支那側ニ於テハ前回ノ會議ニ於テ今回ノ取極運用上必要ナル部分ハ何等カノ形式ヲ以テ開示スヘキ旨申居レルモ遞信省側ノ意見ニヨレハ如何ナル部分カ果シテ今回ノ取極運用上必要ナルカハ全部ノ開示ヲ俟テ篤ト研究スルニ非レハ彼我共ニ之ヲ明カニスル能ハサル次第ニシテ此点ハ曩ニ申進タル支那側ノ不信ヲ警戒スル目的ト相俟ツテ弁法全部(山東省ニ關スル)ノ公文開示ヲ必要トスル所以ナリト

ノコトナリ

又独支弁法ハ必スシモ独逸政府ノミナラス例令ハ山東鉄道会社ノ如キ独逸会社ト支那側トノ間ニ約定セルモノナキヲ保シ難キヲ以テ遺漏ナカラシメンカ為往電第三〇二号ヲ以テ此点ニ関スル取極案第七条ノ修正方申進タル次第ナリ

尚取極第七条ノ通信事務ハ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ニ於ケルモノニシテ之ニ適用スヘキ独支弁法モ右租借地及鉄道沿線ヲ出テサル義ナルモ我方ニ於テハ上海青島芝罘海底線其他独逸カ山東省ニ於テ有セシ通信上ノ権利利益ハ悉ク之ヲ繼承スヘキ筈ナルニ付今次商議ノ結果右海底線繼承ニ關スルモ将来ノ為少クトモ右等ノ権利利益運ヒニ至ラストスルモ將來ノ為少クトモ右等ノ権利利益ニ關スル獨支間ノ協約約束等ヲ知悉シ置クノ要アル義ニ付取極案第七条ハ租借地竝鐵道沿線ニ關スルモノナレ共

本条ニ關聯シ支那側ヲシテ開示セシムヘキ独支弁法ハ山東省全般ニ亘ルモノタルヲ要スル義ナルニ付右様御承知アリタク右ハ第七条トノ關係上多少疑問ニ感セラル虞アルニ付為念申進ス

三、遞信省來信(五)末段ヲ以テ支那側ニ於テ愈々海底線繼承方ニ關シ取極ヲ為ス事ヲ肯ンセサルニ於テハ将来必要

ノ場合ニハ何時ニテモ之ヲ復旧運用スヘキ旨公文ヲ以テ支那側ニ對シ宣言シ本問題ヲ有利ニ解決スルコトニ配慮アリタキ旨申越ノ次第アルモ右ハ我方限リノ一方的宣言タルニ止マリ其効果疑ハシキノミナラス却テ支那側ヲシテ危惧ノ念ヲ起サシメ我方ニ對シ悪感ヲ抱カシムルノ虞ナキヲ保シ難キニ付何等カ之ニ代ハルヘキ他ノ方法考案方目下遞信省トモ協議中ニ有之從テ往電第三〇二号中ニハ此ノ点ヲ削除シタル次第ニ付右様御承知アリタシ

四一二 八月十九日 在中國林公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

山東通信問題ニ關シ第五回會議ニ於テ我修正

案ニ付討議ノ件

第七四六号

山東通信問題ニ關シ八月十七日交通部ニ於テ第五回會議開催我委員ヨリ御訓令ノ趣旨ニ從ヒ訂正ヲ加ヘタル往電第五九七號修正案(十六日郵送済)ニ付一応ノ説明ヲナシ討議ヲ尽シタル結果大要左ノ通り

(一)支那委員ヨリ取極案標題第一条第二条第三条同附帶公文案及第五条ニ付テハ大体異存ナキ旨ヲ言明スルト共ニ第二条ニ關シ限定的意味合ノ公文ヲ交換シタシト主張セリ
(二)軍事通信機関ニ關スル事項ニ付テハ支那委員ヨリ日本側ニ於テ他ノ問題ニ付讓歩スル限り之ヲ取極ヨリ除外スルコト結局異存ナキ口吻ヲ洩ラシ第四条ニ対シ略ホ同意ヲ表シ但シ軍事郵便局取扱通常郵便物ハ支那局ニテ交換セサル旨支那側ヨリ公文ニテ声明シ確認ヲ得タシト述ヘ尚日本経由外国電報取扱廃止ノ件ハ是非確約ノ必要アリト熱心ニ主張シ通信連絡成立ノ上日本側ニテ尚軍事通信機関ニ依リ外国電報ノ取扱ヲ繼續セントスルノ不条理ナルコトヲ論述セルニ付我委員ヨリ予テノ御訓令ニ從ヒ反覆説明ヲ加ヘ再考ヲ促シ置キタリ
(三)第六条ニ關シ支那委員ヨリ冒頭ヲ交通部第二次修正案通り青島濰縣濟南ト限定シタキ旨主張セルニ付我委員ヨリ「山東」トナスコト迄ハ讓歩スヘキモ右様限定スルコトハ断シテ不同意ナリトテ前回會議ノ経過ヲ指摘シテ論駁セルニ支那委員ヨリ山東省トセハ芝罘モ含ムコトトナリ日支那現行約定トモ相違シ絶対ニ同意シ兼ヌル旨繕返シ弁明セリ

四一三 八月十九日 在中國林公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

山東通信問題ニ關シ第五回會議ニ於ケル中國側ノ主張ニ付意見具申及請訓ノ件

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四一四

五三八

第七四七号

往電第七四六号五回會議ノ経過ニ付考フルニ海底電線繼承運用問題ニ付テハ到底我主張ヲ貫徹シ得ヘキ見込ナキヲ以テ右ハ今回ノ取極メヨリ引離シ徐々ニ後日ノ商議ニ譲ル事トシ同時ニ軍事通信機関ニ關スル事項ハ支那側ヲシテ之ヲ撤回セシムル様力説シ専ラ當面ノ通信聯絡方法ニ付テノミ協定ヲナス事トスル外致方ナカルヘシト存ス予メ御詮議置相成度尚第六回會議ハ支那委員督励ノ結果來週中ニ開催ノ旨ナルニ付往電第七四六号(二)ノ内軍事郵便局取扱ヒ通常郵便物ノ不交換ニ関スル公文取換セノ件(三)第六条四第七条ニ關スル支那側修正案ニ付スル結局ノ御意図至急何分ノ御回電アリタシ

四一四 八月二十一日 石井外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

山東通信問題ニ關シ我修正案以外ニ中国側希望ノ点公文案トシ提出方注意セル理由問合ノ件

第三二七号

貴電第七四六号ノ三末段ニ關シ我修正案列記ノ七ヶ条以外

四一五 八月二十二日 石井外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

我修正案以外ニ中国側希望ノ点公文案トシ提出方注意セル事情ニ付回報ノ件

第七五四号

貴電第三二七号ニ關シ支那側ニテハ軍事通信機関殊ニ日本

經由外國電信取扱ヒ廃止ノ件ヲ是非共取極中ニ存シ度希望ヲ有シ居リ從来我委員ニ於テ之ヲ防止スル為論詳最モ努メ居ル次第ナルガ權量ノ關スル限りハ或程度迄譲歩ノ傾キヲス」迄暗号不明ニ付再電アリタシ

示シ居ルモ交通部内ノ意見ハ依然頗ル強硬ナルモノアリ從テ今回ノ我修正案ニ付スル対案トシテ鮮クモ右ニ關スル新条項ヲ提起スル模様アルニ付我委員ヨリ權量ニ向テ右ノ如キ新条項ヲ提起スル事ナキ様内部ノ議取纏メ方懲談ヲ遂ケ尚愈同人ノ力ヲ以テ喰止メ難キ場合ニモセメテ公文案ノ形スヘシト云ヒタルニアラザルハ勿論)往電第七四六号何等希望ノ点云々トハ專ラ右ヲ指ス趣旨ニテ決シテ支那側ニ辟柄ヲ与フルカ如キ廣汎的意味合ノ申入ラナンタル次第ニハ無之ニ付右様御含置アリタシ

四一六 八月二十五日 在中國林公使ヨリ
石井外務大臣宛

山東通信連絡問題ニ關シ中國側ヨリ次回會議

開催延期方申出ノ件

公信第二二八号(機密) (八月三十日接受)

山東通信聯絡問題ニ關スル件

八月十七日山東通信聯絡問題ニ關シ第五回會議ヲ開催シ其結果不取敢往電第七四六号ヲ以テ報告ニ及ヒ同時ニ往電第七四七号ヲ以テ卑見ヲ具陳シ且第六回會議ハ今週中ニ開催

ニ支那側ニ於テ何等希望ノ点アラバ公文案トシテ提出スル様我委員ヨリ支那委員ニ付シ特ニ注意シ置キタル由ノ処口頭ナラバ格別公文案トシテ提出セシムルコトハ新条項ヲ提議セシムルト形式上相違コソアレ紛糾ヲ招ク点ヨリ云へハ結局大差ナカルヘク從テ特ニ必要ナキ限り斯ノ如キ事項ハ寧ロ之ヲ申入レザル方宜シカルヘシト思考セラル處我委員ニ於テ特ニ右ノ注意ヲ為シタルハ何等特種ノ事由アリタルニヨル次第ナルヤ何分ノ義回電アリタシ。尚貴電第七四七号「撤回セシムル様力説シ」ヨリ「致方ナカルヘシト存ス」迄暗号不明ニ付再電アリタシ

四一六 八月二十一日 石井外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

我修正案以外ニ中国側希望ノ点公文案トシ提出方注意セル事情ニ付回報ノ件

第七五四号

貴電第三二七号ニ關シ支那側ニテハ軍事通信機関殊ニ日本
經由外國電信取扱ヒ廃止ノ件ヲ是非共取極中ニ存シ度希望ヲ有シ居リ從来我委員ニ於テ之ヲ防止スル為論詳最モ努メ居ル次第ナルガ權量ノ關スル限りハ或程度迄譲歩ノ傾キヲス」迄暗号不明ニ付再電アリタシ

ノ筈ナル旨申添置処昨二十四日夜支那側委員權量出淵書記官ヲ私宅ニ來訪シ交通部内輪ノ事情ニ付大要左記ノ通内話シ本件意外ノ行惱ミニ顧ミニ次回會議当分延期方申入レタル趣ニ有之候
八月十七日第五回會議後當局者タル王郵政司長(米国留学生出身)蔣電政司長(舉人出身)及自分ノ三名許総長ノ面前ニ於テ會議ヲ開キタル處其際郵政電政兩司長ヨリ本件交渉ノ経過頗ル支那側ニ不利益ナルコトヲ指摘シ第四回第五回會議ニ於テ自分ノ貴官ニ付シ同意ヲ言明シタル事項ノ大部分ヲ否認シ殊ニ昨年十二月提出セル交通部第二次修正案ヲモ不満足ナリトシ之ヲ有利ニ訂正スル必要アリト迄主張シ自分ヨリ懇々其不条理ヲ陳弁シタルモ多勢ニ無勢殊ニ自分トシテハ次回ノ會議席上前言ヲ取消シ又ハ県隔甚敷対局本件實際ノ當局者タル両司長ノ説ヲ採用スルカ如キロ氣ヲ漏ラシ未タ確定議ヲ見ルニハ至ラサルモ追テ支那側ヨリ提出スヘキ対案ナルモノハ著敷演戾スルコトナルヘシ結局本件實際ノ當局者タル両司長ノ説ヲ採用スルカ如キロ自分トシテハ次回ノ會議席上前言ヲ取消シ又ハ県隔甚敷対局本件實際ノ當局者タル両司長ノ説ヲ採用スルカ如キロ氣ヲ漏ラシ未タ確定議ヲ見ルニハ至ラサルモ追テ支那側ヨリ提出スヘキ対案ナルモノハ著敷演戾スルコトナルヘシ

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 附 四一六

五三九

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四一七

五四〇

後輩ニシテ且年来ノ友人タル私ノ地位ニ顧ミ委員トシテ貴官ニ対スルコト到底忍ヒ難キニ付断然辞退スル決心ナリ過去一年間親敷本件交渉ノ衝ニ当リ最近ニ至リ双方ノ主張著敷接近ヲ見ルニ至リ今一息ト云フ場合斯ル羽目ニ陥リタルハ如何ニシテモ殘念至極ナリ回顧スレハ六月二十一日第四回會議ノ際時局ノ維持如何ニ依リテハ自分ノ地位ニ変動ヲ來シ上下ノ圧迫ニ余義ナクセラレ折角約束シタル事柄モ取消ササルヘカラナルコトナリヤモ計リ難シト語リタルコトカ（往電第五九六号末段参照）不幸ニシテ適中シタルハ返ス々モ遺憾ナリ乍去日本側ニ於テモ毎回常ニ調査ノ為ト称シテ兎角回答ヲ遅延シ所謂潮時ヲ逸セラレタル次第ナルコトハ一言セサルヘカラス云々右ニ対シ出渕書記官ヨリ苟モ委員トシテ從来約諾シタル事項ヲ交通部新当局者ニ於テ叨ニ变更ヲ加ヘントスルカ如キハ國際信義ノ問題ニ付公使館トシテハ飽迄強硬ナル態度ヲ以テ善後策ヲ講セサルヘカラスト述ヘタル處權量ハ実ハ許總長ノ地位ハ頗ル不安固ナルモノアリ近ク国会ニ於テ閣員承認案ヲ議スル際多分同總長丈ヶハ不承認トナルヘキ形勢ニ付今暫ク模様ヲ見愈々同總長留任ト決シタル上ニテ何分ノ措置ニ出テラル方得

策ナルヘシト内話シタル趣ニ有之右ハ尤ノ次第ト認メラルニ付許總長ノ運命決スル迄暫ク交通部ニ向テ會議開催ノ督促ヲ見合セ同時ニ權量ヲシテ其迄ノ間我方ニ不利益ナル対案ノ確定スルカ如キコトナキ様適宜措置セシムルコトニ取計置候間右様御了知相成度此段一応及報告候也

四一七 十月五日 石井外務大臣ヨリ

在中国日置公使宛

山東通信業務交渉ニ關シ遞信省ノ意見転達ノ

件

附屬書 九月二十六日箕浦遞信大臣發石井外務大臣宛公

信秘通第四九〇号

山東通信業務ニ関スル件

公信機密送第一七二号
山東通信業務ニ關スル件
本件ニ關スル第五回會議ノ経過御報告其他累次ノ貴官発電信及公信ハ予テ遞信省ニ移牒シ同省ノ意見ヲ求メ置候処今回同省ヨリ別紙写ノ通り申越有之候右申越ノ趣旨ハ本省ニ於テモ大体異存無之候ニ付篤ト御查閱ノ上右趣旨ニ基キ適宜交渉方可然御取計相成度此段申進候也

追テ目下膠州湾租借地並山東鉄道沿線ニアル我軍事郵便局所在地及其數ハ青島ニ四ヶ所四方、李村、膠州、高密、坊子、濰縣、青州、張店、淄川及濟南ニ各一ヶ所ノ由ニ有之候御参考迄ニ申添候也
尚義ニ及送付候本件交渉^(註)表追加別表ノ通り作成致候間御参考マテニ及御送付候也

註 本件交渉経過表追加別表省略

（附屬書）

九月二十六日附箕浦遞信大臣ヨリ石井外務大臣宛公信

山東通信業務ニ關スル件

（九月二十七日接受）

秘通第四九〇号

本件ニ關シ八月二十一日附政機密送第九四号及同月二十三

日附政機密送第九五号ヲ以テ御申越ノ趣闘悉右ニ關スル當省意見左記ノ通ニ有之候条在支公使ニ回訓方可然御取計相成度此段及回答候也

追テ陸軍省ニ關係アル事項ニ付テハ同省ト協議済ニ有之

候

左記

（）第二條局舎ニ位置ニ関シテハ限定的意味合ノ公文交換方

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 附 四一七

五四一

トニ付テハ今回及殊ニ第四回会議ノ経過(林公使來電第七四五号)ニ徵スルモ支那側ニ於テ別段異存ナキモノノ如シ果シテ然ラハ支那側ハ一面ニ於テハ膠州灣租借地及

山東鐵道沿線各地ヨリ發スル郵便物ニ貼付セル我郵便切手ヲ有効ト認メムトシ他面ニ於テハ右切手ヲ貼付セ

ル郵便物ノ交換ヲ拒絶セムトスルモノニシテ蓋シ自家撞著ヲ免カレサルナリ後ニ第六条ノ部ニ於テモ述フル

カ如ク本件双方主義ノ範囲ヨリ芝罘ヲ除外スルコトハ他ノ問題ノ懸引ニ利用スルコトトシテ支那側ノ要求ニ

応スルハ必シモ異存ナキモ之ヲ青島濟南及濰県ニ局限スルコトハ断シテ同意シ難キヲ以テ右範囲ハ少クト

モ膠州灣租借地及山東鐵道沿線各地ト為スコトヲ主張スルト同時ニ一面双方主義ノ範囲内ニ於テ取扱フヘキ

郵便物ノ不交換ヲ声明セムトスルノ不条理ナルヲ指摘シ支那側ヲシテ本件不交換ノ要求ヲ撤回セシムル様極力御尽力アリタシ

(八)日本經由青島發著外國電報取扱廃止ノ件ニ付テハ支那

側ハ強硬ニ其ノ主張ヲ固執シ居ル趣ナルカ本件取扱廃止ノ要求ニハ絶対ニ応シ難キニ付從来縷々申述ヘタル

トコロノ趣旨ニ依リ支那側ノ再考ヲ求メ少クトモ前回申進メタル左記讓歩案ニ依リ折合ヲ付クルコトニ御尽力アリタシ

将来日本カ上海青島芝罘間海底電線ヲ復旧運用スル

曉ニハ日本經由青島發著外國電線ノ取扱ヲ廢止スヘ

(三)第六条郵便切手双方主義ノ範囲ハ今次協商ノ目的ニ顧ミ

支那側ノ主張ヲ尊重シテ特ニ山東省ニ局限方同意セムト

スルモノナルニ拘ハラス支那側カ更ニ進シテ諸多ノ制限ヲ加ヘムトスルハ了解ニ苦シムトコロナリ然レトモ支那

側ノ所謂日支郵便約定ノ關係モアリ芝罘ヲ除外スルコト

文ハ他ノ問題ノ懸引ニ利用スルコトトシテ之ヲ讓歩スル

ハ必シモ異存ナキヲ以テ本件ハ曩ニ第二項(四)ニ於テ述

ヘタル郵便物ノ不交換ノ問題ニ對スル事由ト相俟テ膠州

灣租借地及山東鐵道沿線ニ對シテハ何等ノ制限ヲ設ケシメサル様御配意アリタシ

(四)第七条ニ付テ

(1)本条中通信事務ナル文句ヲ用ヒムトスルハ山東省ニ於ケル通信事務ニ關シテハ郵便電信ハ勿論其ノ他ノ通信

關係モ可成獨治時代ノ状態ニ復旧シテ一般公衆ノ不便ヲ救濟セムトスルノ趣旨ニ外ナラサル所以ヲ懇示スルト同時ニ本件ハ第四回会議ニ於テ支那側カ既ニ一應同意シ居レル経過ヲモ指摘シテ支那側ノ要求ヲ撤回セシムル様今一應御交渉アリタシ

(2)弁法類開示ノ件ハ今次ノ協商カ専ラ山東省ニ關スルモノノミニ限定スルコトハ異存ナキトヨロナリト雖苟クモ山東省ノ通信事務ニ關スル限り独支間ノ弁法類ハ是非全部之ヲ開示セシムヘク我主張ヲ貫徹シタン支那側極運用ニ直接關係アル部分ト称スルモノモ果シテ如何ナルモノナルカ略推測ニ余アリ從来ノ不信ニ照ラシテ最モ警戒ヲ要スル次第ニ付前述ノ如ク山東省ニ關スル通信弁法類(上海青島芝罘間海底電線及芝北京間)ハ無洩之ヲ開示セシムルコトニ極力御尽力アリタシ尤モ開示ノ方法ハ支那側申出ノ如ク先方委員ヨリ我方委員ニ宛テタル書面ヲ以テスルモ別段異存ナシ

(5)海底電線繼承ノ件ハ今次協商ニ於テ之ヲ解決スルコト能

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ關スル交渉一件 附 四一七

ラサルニ於テハ之亦山東條約ニ依リ律スヘキモノトシテ
後日ノ問題ニ譲ラサルヘカラス然ルニ此際独リ前記海底

思考スルモノ第七条トノ関係上聊カ疑惑アルヲ以テ右為念
申添ニ

電線ノ問題ニ関シテノミ義ニ日置前公使ヨリ稟申ニ係ル
カ如キ「山東條約第一条ニ依リ律スヘキ云々」ノ公文ヲ
交換スルニ於テハ海底電線問題以外ニハ山東通信業務ニ
関シ山東條約ノ適用ヲ受クヘキモノ残存セストノ裏書ヲ
為スカ如キ結果ヲ來タスノ虞アルヲ以テ此際ハ第五回会
議ニ於テ我方委員ヨリ提出セル海底電線ニ関スル公文取
極案ニ対シ支那側ヨリ「本件海底電線ノ繼承ハ他ノ諸問
題ト為シ難シ」トノ意味合ノ文書ヲ徵スルコトトシ芝罘
トト致度ニ付此ノ趣旨ニ依リ解決方可然御配意アリタシ
北京間直通通信ノ問題等ニ関シ交渉ノ余地ヲ存シ置クコ

八
川
橫

「通常郵便物」ヲ「公衆郵便物」ニ改ムルコト竝第六条

ニ付テ芝罘ヲ除外スルコトニ決定セル場合ハ同条ニ相当
修正ヲ加フル要アルノ外他ハ各条異存ナシ但シ第七条ニ
関聯シ開示セシムヘキ弁法ニ付「右弁法云々」ト記載シ
アリ右ハ勿論山東省全体ニ関スル弁法ノ意味ニシテ膠州
灣租借地及山東鐵道沿線ノミニ閔スルモノニ非サル義ト

支那電信局トヲ連結スヘキ必要ナル電線建設ニ着手スヘシ

四条 芝栗太沽間ニ於ケル二条ノ支那海底線共ニ故障ナキトキハ芝栗及北京ニ於ケル独逸郵便局ハ善意ノ独逸官報送達ノ為毎日左記ノ時間中第三条ニ記載セル通信ヲ行フコトヲ得

山東津浦鉄道聯絡二関シ山東鐵道北田營業部
長ヨリ申出ノ件

長ヨリ申出ノ件

但シ前項ノ各場合ニ於テハ双方共好意ヲ以テ協議ヲ遂ケ
互ニ出来得ル限り各自ノ通信事務ニ遅滞ヲ來サザラシム

附 山東津浦両鉄道連絡二閑スル件

四一八 四月十八日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四一

四一九

第一六〇号

山東津浦兩鐵道貨車聯

石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛
(電報)

一九 五月十六日 山東津浦両鉄道貨車聯絡運輸ノ復旧ニ関シ由
石井外務大臣ヨリ 在中國日置公使宛(電報)